

# 淀川水系猪名川下流ブロック河川整備計画（素案）

## ＜参考資料＞

平成28年12月

大阪府

\*\*\*\*\*

### 目次

第 1 章	河川整備計画の目標に関する事項	1	第 2 章	河川整備の実施に関する事項	59
第 1 節	流域及び河川の概要	1	第 1 節	河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により 設置される河川管理施設の機能の概要	59
1.	流域の概要	1	1.	洪水対策	59
2.	流域の特性	2	2.	河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持	62
3.	河川の特性	24	3.	河川環境の整備と保全	62
第 2 節	河川整備の現状と課題	32	第 2 節	河川の維持の目的、種類及び施行の場所	63
1.	治水の現状と課題	32	1.	河川管理施設	63
2.	河川利用及び河川環境の現状と課題	34	2.	許可工作物	63
第 3 節	流域の将来像	40	3.	河川空間の管理	63
第 4 節	河川整備計画の目標	47	第 3 章	その他河川整備を総合的に行うために必要な事項	64
1.	洪水、高潮等による災害の発生の防止または軽減に関する目標	47	第 1 節	地域や関係機関との連携に関する事項	64
2.	河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標	48	第 2 節	河川情報の提供に関する事項	64
3.	河川環境の整備と保全に関する目標	49			
4.	河川整備計画の計画対象区間	49			
5.	河川整備計画の計画対象期間	49			
6.	本計画の適用	49			



## 2. 流域の特性

### (1) 自然環境特性

#### 1) 地形・地質

猪名川下流ブロックの地形は、大阪平野、猪名川低地から北大阪丘陵、北摂山地へと続く、地形傾斜変換点に位置し、北部の山間には扇状地性低地が点在しています。南部は千里丘陵などの中低位の段丘地形と扇状地低地により構成されています。

地質は、山地部で主に六甲山陰型花崗岩類と、砂岩、泥岩から構成される丹波層群からなり、段丘地は礫、扇状地は砂で構成され、大阪層群の未固結堆積物となっています。

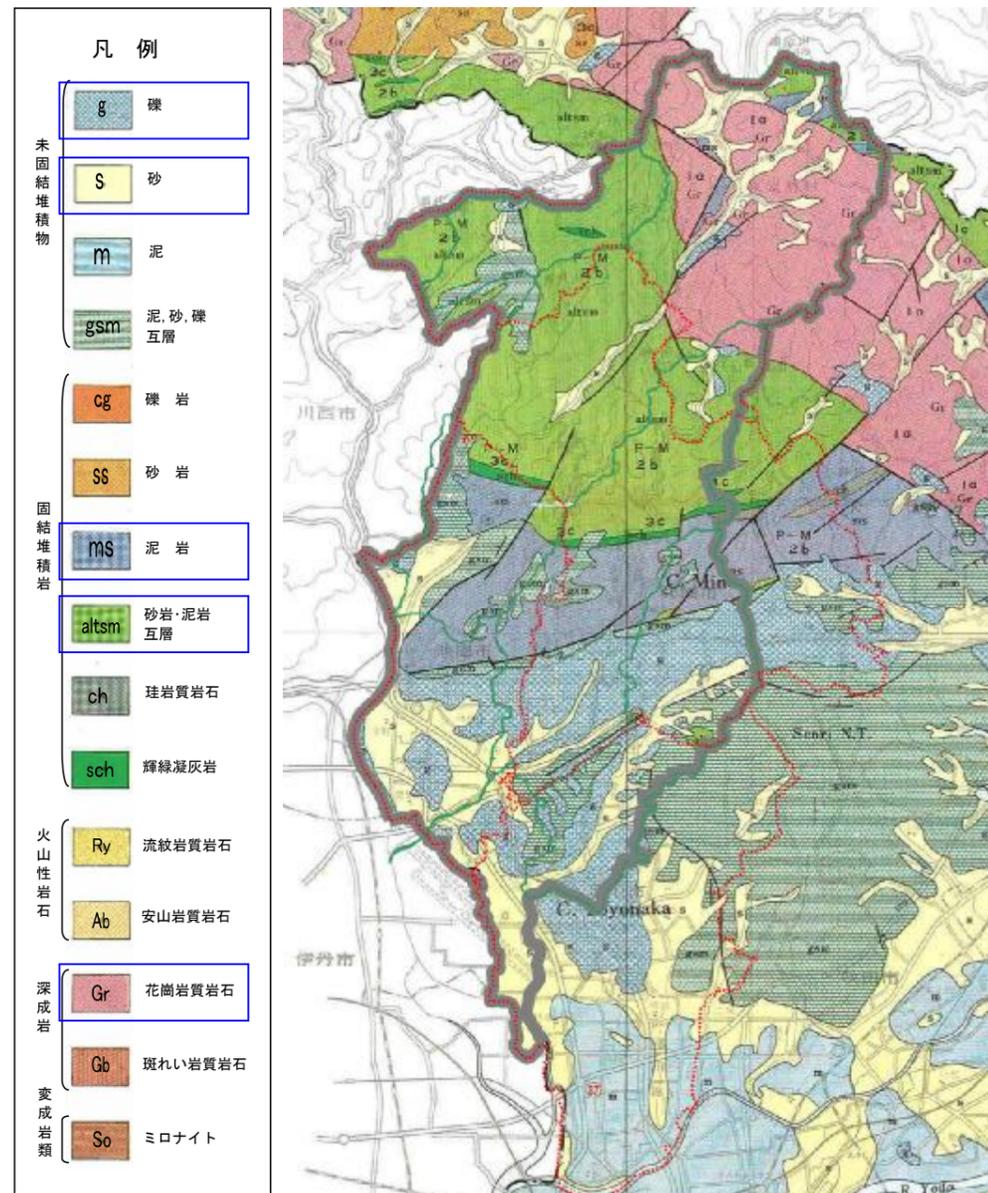


図-1.2 表層地質図

出典：日本地図センター(昭和51年)

### 2) 気候

気候は、温暖で降水量の少ない「瀬戸内海式気候」に属し、ブロック南部に設置されている気象庁豊中観測所における30年間の平年値は、年平均気温は約16℃と温暖で、年間降水量が約1,280mm(全国平均約1,700mm)となっています。

一方、ブロックの北部周辺に設置されている気象庁能勢観測所における平年値は、年平均気温約13.5℃で、冬季の最低気温は氷点下となります。年間降水量が約1,400mmとブロック南部の平野・丘陵地と比べ、多い傾向です。降水量を月別で見ると、いずれの観測所も梅雨期の6~7月(約190mm~200mm)、台風期の9月の降水量(約160mm~180mm)が多くなっています。

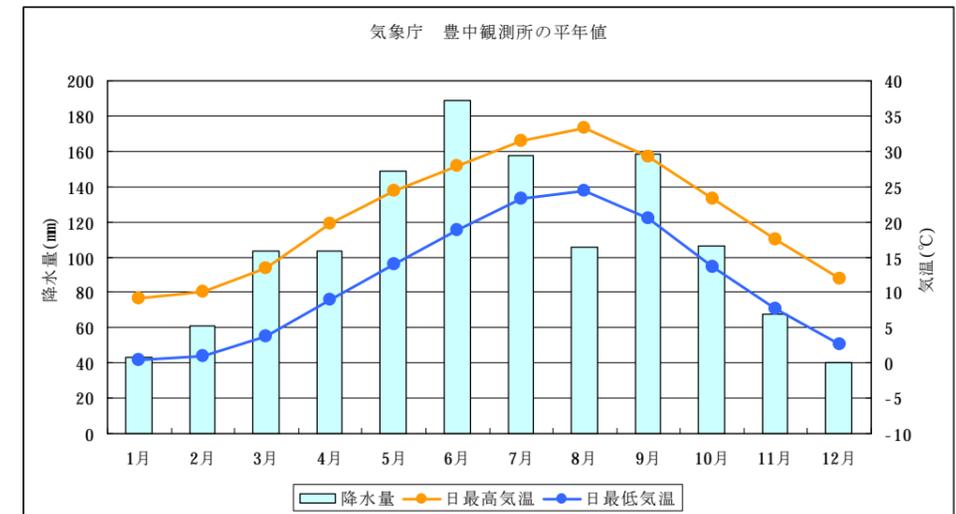


図-1.3 豊中観測所の月別の降水量と気温(昭和56~平成22年:30年間)

出典：気象庁 HP より作成

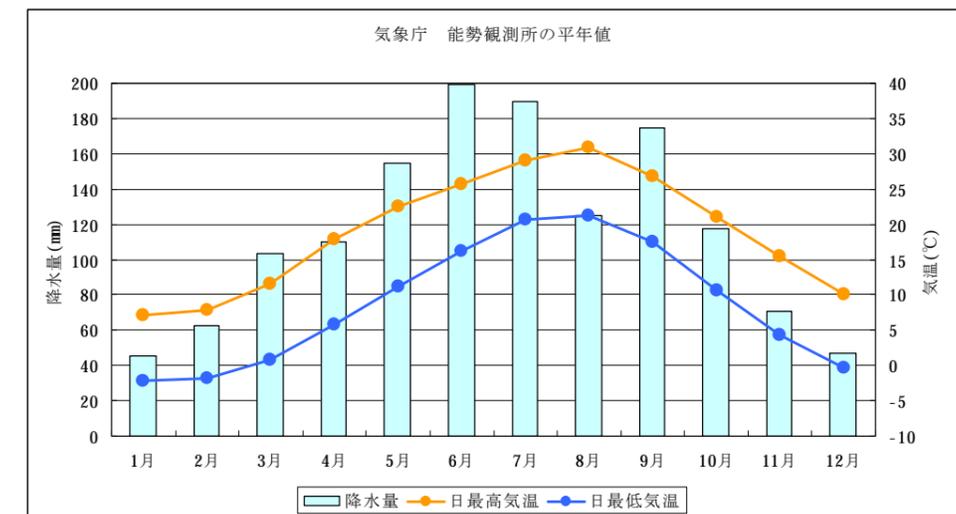


図-1.4 能勢観測所の月別の降水量と気温(昭和56~平成22年:30年間)

出典：気象庁 HP より作成

### 3) 自然環境

#### ①植生

自然環境保全基礎調査（第3回、第6回、第7回）の現存植生図によると、猪名川下流ブロックの植生は、山地部の大部分をモチツツジ-アカマツ群集及びスギ・ヒノキ・サワラ植林やヤブムラサキ-コナラ群集で占めています。流域内の明治の森箕面国定公園には広範囲に特定植物群落「イロハモミジ-ケヤキ林」が見られ、五月山南面にはアベマキ-コナラ群集が見られます。流域北部の妙見山頂付近には大阪府北摂唯一のブナ林が見られます。ブロック南部の丘陵部、低地部は、ほとんどが市街地となっています。

山地部の森林の4割がスギ・ヒノキ等の人工林で、箕面川から余野川上流にかけて広がり、自然林は余野川流域に広がっています。また、森林の保全が、大阪府立自然公園（豊能町の妙見山地区）指定地、国定公園の中心に位置する箕面国有林において行なわれています。

#### ②鳥類

自然環境保全基礎調査<sup>1)</sup>（第6回、平成9～14年調査）によると、猪名川下流ブロックを含むメッシュには、川とのかかわりの深い種が12科18種確認されています。

猪名川下流ブロックの山地部が位置するメッシュでは、河岸の切り立った崖等に営巣するカワセミ（大阪府レッドリスト：準絶滅危惧）、中州や河岸の砂礫地に営巣するコアジサシ（レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）が見られます。平地部および丘陵地に位置するメッシュでは、河川敷の砂礫において繁殖するコチドリ（大阪府レッドリスト：準絶滅危惧種）・イカルチドリ（大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ種）やコアジサシ（大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅰ類）、広い河原で生息するイソシギ（大阪府レッドリスト：準絶滅危惧）、ヨシ原を繁殖地とするオオヨシキリが確認されています。また、崖や倒木、岩の窪みに営巣するミソサザイやカワセミが見られます。

なお、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果（H18.7）によれば、ウグイス、シジュウカラ、オオルリ、コルリ、トラツグミ、水域ではカワウ、ゴイサギ、オシドリ、カワセミ、ヤマセミ、カワガラス等、また、猛禽類のオオタカ、ハチクマ、ハイタカ、サシバ等が確認されています。

#### ③哺乳類

自然環境保全基礎調査（第2回、第4回）によれば、大型獣として、山間部ではアナグマ、キツネ、タヌキ、ニホンイノシシ、ニホンザル、ニホンジカが確認されていますが、平地部ではタヌキ、キツネのみが確認されています。

「箕面山サル生息地」は、国の天然記念物に指定されています。

なお、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果（H18.7）によれば、ニホンジカ、イノシシ、アナグマ、キツネ、タヌキの他、ニホンリス、イタチが確認されています。また、コウモリ類のキクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリ等も確認されています。

近年、外来種のアライグマ、ヌートリアによる農林被害や生態系への影響などが問題となっており、アライグマについては「大阪府アライグマ防除実施計画」を平成19年4月に策定（大阪府環境農林

水産部）して捕獲及びモニタリングが行なわれ、ヌートリアについては生息状況等の調査が進められています。

#### ④両生・爬虫類

自然環境保全基礎調査（第2回、昭和56年）によると、貴重種が5種確認されています。池・沼の近くに生息するモリアオガエルが余野川の上流部に、溪流に限らず人家付近でも見られるオオサンショウウオ（絶滅危惧Ⅱ類：大阪府レッドリスト）が余野川の上流部、下流部、箕面川の中流部で確認されています。山地に生息するカスミサンショウウオ（大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅰ類）は箕面川の最上流部で、ヒダサンショウウオ（大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）は明治の森箕面国定公園とその上流で広範囲に生息が確認されています。平地のゆるやかな流れに生息するダルマガエル（大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅰ類）が千里川の下流部で確認されています。

なお、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果（H18.7）によれば、両生類はイモリ、ニホンヒキガエル、モリアオガエル等、爬虫類は、アオダイショウ、マムシ、イシガメ等が確認されています。

#### ⑤昆虫

自然環境保全基礎調査（第2回、昭和56年）によると、猪名川下流ブロックには、指標昆虫10種のうち7種および特定昆虫100種のうち60種が確認されています。

川との関わりの深い種は指標昆虫4種、特定昆虫13種で貴重種は11種見られます。指標昆虫では、樹木で覆われた急斜面のある狭い渓谷やその上方の空間に生息するムカシトンボ（大阪府レッドリスト：準絶滅危惧）が余野川上流と初谷川上流の山間部で、ムカシヤンマ（大阪府レッドリスト：準絶滅危惧）が箕面国定公園を含む中央山地一帯で、水田や止水部で生息するタガメ（レッドリストおよび大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）が余野川上流と箕面川上流に生息し、清流で餌となるカワニナが生息し、産卵に適したコケが生育していることなどが生育条件となるゲンジボタルが余野川上中流と箕面川上流に確認されています。特定昆虫では、小さな流れに生息するグンバイトンボ（レッドリスト：準絶滅危惧、大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅰ類）、余野川上中流部に、ベニイトトンボ（レッドリスト：準絶滅危惧、大阪府レッドリスト：準絶滅危惧）が余野川下流に、ハネビロエゾトンボ（大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）が余野川中流部に、ナニワトンボ（レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類、大阪府レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）が箕面川の上流南側の尾根付近に見られます。

なお、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果（H18.7）によれば、グンバイトンボ、ミヤマカワトンボ、ミズムシ、ナガミズムシ、ホタル等の河川及び池沼環境に生息する種や、オオムラサキ、セセリチョウ類、シジミチョウ類等の樹林帯に生息する種が確認されています。

また、箕面一帯は東京の高尾山、京都の貴船と並び、日本の昆虫の三大宝庫として知られており、明治の森箕面国定公園にはおよそ3,000種の昆虫を数えるとされています。

<sup>1)</sup> 自然環境保全基礎調査：全国的な観点から我が国における自然環境の現況及び改変状況を把握し、自然環境保全の施策を推進するための基礎資料を整備するために、環境省が昭和48年度より自然環境保全法第4条の規定に基づきおおむね5年ごとに実施している調査。第3回基礎調査は、昭和58～62年度に実施。第6回基礎調査は、平成11年～17年に実施。第7回調査は、平成17年～24年実施。

#### ⑥魚類

猪名川下流ブロックの水生物（魚類）は、千里川、箕面川、余野川の3河川の平成7年～平成23年の調査で33種の魚類の生息が確認されています。

千里川では29種、うち貴重種（大阪府レッドリスト）は7種が確認され、中上流にカワムツが、中下流にオイカワが見られます。ドジョウは上中下流で、ナマズ、コイなどの大型魚や外来種のおオクチバス、ブルーギルが下流で見られます。箕面川では、7種、うち貴重種（大阪府レッドリスト）2種が確認され、上流でカワムツ、カワヨシノボリ、中流でオイカワ、タカハヤ、ドジョウが見られます。また、下流でイトモロコが1度確認されています。余野川では、16種、うち貴重種（大阪府レッドリスト）6種が確認され、全川でカワヨシノボリ、カワムツ、中流でドンコ、中下流でシマドジョウ、下流でオイカワが見られます。外来種のおオクチバスが下流で確認されています。なお環境省レッドリスト種は出現していませんが、大阪府レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類ムギツクは余野川下流と箕面川中流で、準絶滅危惧種のギギは千里川下流と余野川下流で見られます。

なお、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果（H18.7）によれば、余野川でカワムツ、オイカワ、カワムツ等の流水を好む魚類、シマドジョウ、カワヨシノボリ等底生性の魚類が多く見られ、北山川でカワムツ、タカハヤ類と底生性のカワヨシノボリが多く見られ、その他、アユ、ギンブナ、コイ、カジカ、ブラックバス等が確認されています。

余野川、箕面川、千里川の3河川での魚類調査結果より、瀬と淵が形成されている比較的多様な環境を必要とするカワムツと浅く開けた場所（平瀬）を好むオイカワの生息状況を見ると。千里川の中下流、余野川の下流ではオイカワの方が多く確認されており、千里川の上流、箕面川の上流、余野川の上流でカワムツが多く確認されています。

上記の3河川では、オイカワの生息状況より下流で比較的単調な河川になっていること、カワムツの生息状況より上流は多様な環境が残っていることが伺えます。

#### ⑦水生物（底生動物）

猪名川下流ブロックの水生物（底生動物）は、平成7年～26年の調査をまとめると、千里川は76種、箕面川110種、余野川143種が確認され、そのうち貴重種（レッドリストあるいは大阪府レッドリスト）は、千里川で1種（マシジミ）と箕面川で1種（モノアラガイ）、余野川で5種（モノアラガイ、マシジミ、ミズカマキリ、フタスジキソトビケラ、シジミガムシ）が見られます。その他の生物では、ゲンジボタルが箕面川と余野川で確認されています。

なお、国が行なった余野川ダム事業における環境調査結果（H18.7）によれば、余野川ではウルマーシマトビケラ、ヤマトフタツメカワゲラ、カワニナ等が多く、北山川ではニッポンヨコエビ、ウルマーシマトビケラ、サワガニ、アシマダラブユ等が多く確認されています。

①植生

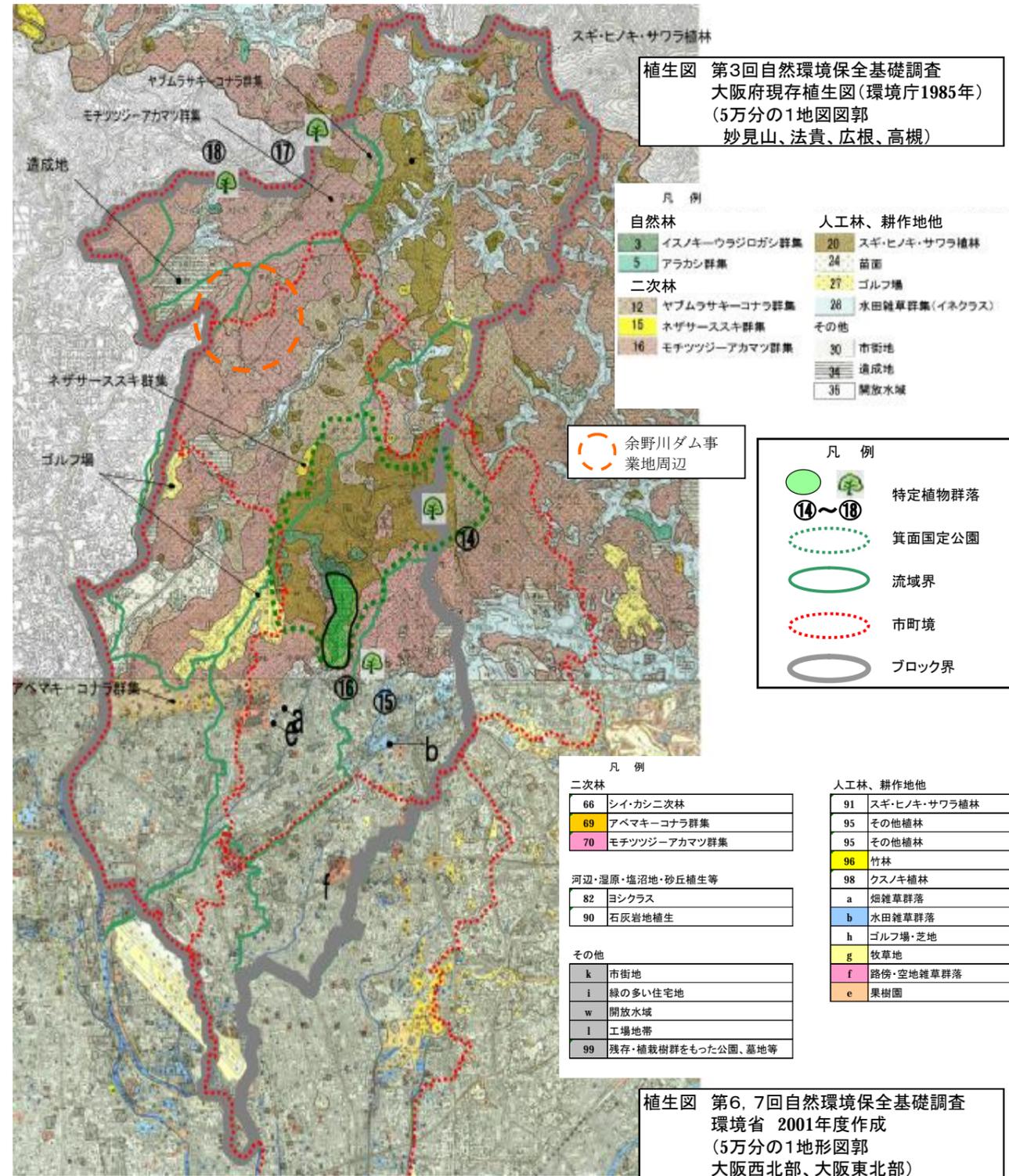
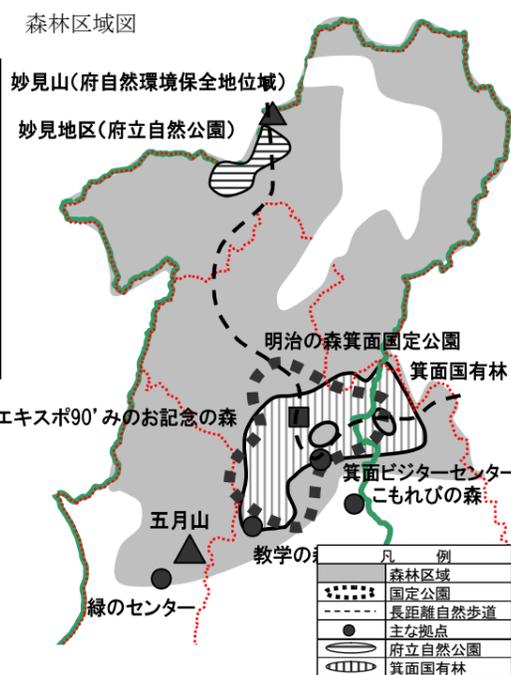


図-1.5 植生の状況図

表-1.2 特定植物群落一覧

NO.	件名	選定基準
⑭	勝尾寺のウラジロガシ林	郷土景観
⑮	箕面滝安寺のシイ林	原生林もしくはそれに近い自然林
⑯	箕面のイロハモミジ・ケヤキ林	原生林もしくはそれに近い自然林
⑰	能勢妙見山のブナ林	南限、北限、隔離分布等分布限界になる山地に見られる
⑱	吉川神社のシイ林	郷土景観

出典：第3回自然環境保全基礎調査 大阪府自然環境情報図(環境庁1989年)



【森林の状況】

3市1町の森林率は39%と府平均30%より高く、人工林率は29%と府平均の49%より低くなっています。

市名	市面積	森林面積	森林率	人工林面積	人工林率
	(ha)	(ha)	(%)	(ha)	(%)
豊中市	3,638	2	0%	0	0%
池田市	2,209	545	25%	58	11%
箕面市	4,784	2,781	58%	402	14%
豊能町	3,437	2,189	64%	1,120	51%
計	14,068	5,517	39%	1,580	29%

(出典：大阪の森林と林業)

【国定公園】

明治百年記念事業のひとつとして、東京都にある高尾山とともに昭和42年12月11日に国定公園に指定。箕面山の山麓に広がる、大阪府箕面公園とその周辺の山林をあわせて963haが指定されています。

【大阪府立自然公園】(大阪府立自然公園指定妙見山地区)

多様な動植物が生息し、地域の住民に親しまれてきた「里山」を開発から守り、自然公園法に基づき自然を生かした地域の環境整備、自然レクリエーションの場作りなど、総合的な地域振興を進めるため、大阪府は北摂山系に点在する10地区を「大阪府立北摂自然公園」に指定し、里山の保全に取り組んでいます。

【箕面国定公園(590ha)】

明治の森箕面国定公園の中心地にあり、8割がスギ・ヒノキの人工林です。「レクリエーションの森」に指定されており、風歩道、自然探勝路、キャンプ場、園地などの施設があります。

第3回 自然環境保全基礎調査 大阪府現存植生図、大阪府自然環境情報図  
第6回・第7回 自然環境保全基礎調査 植生調査情報提供ホームページ  
第4回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査結果  
第6回 自然環境保全基礎調査 巨樹・巨木林調査結果  
環境省 自然環境局生物多様性センター

②鳥類

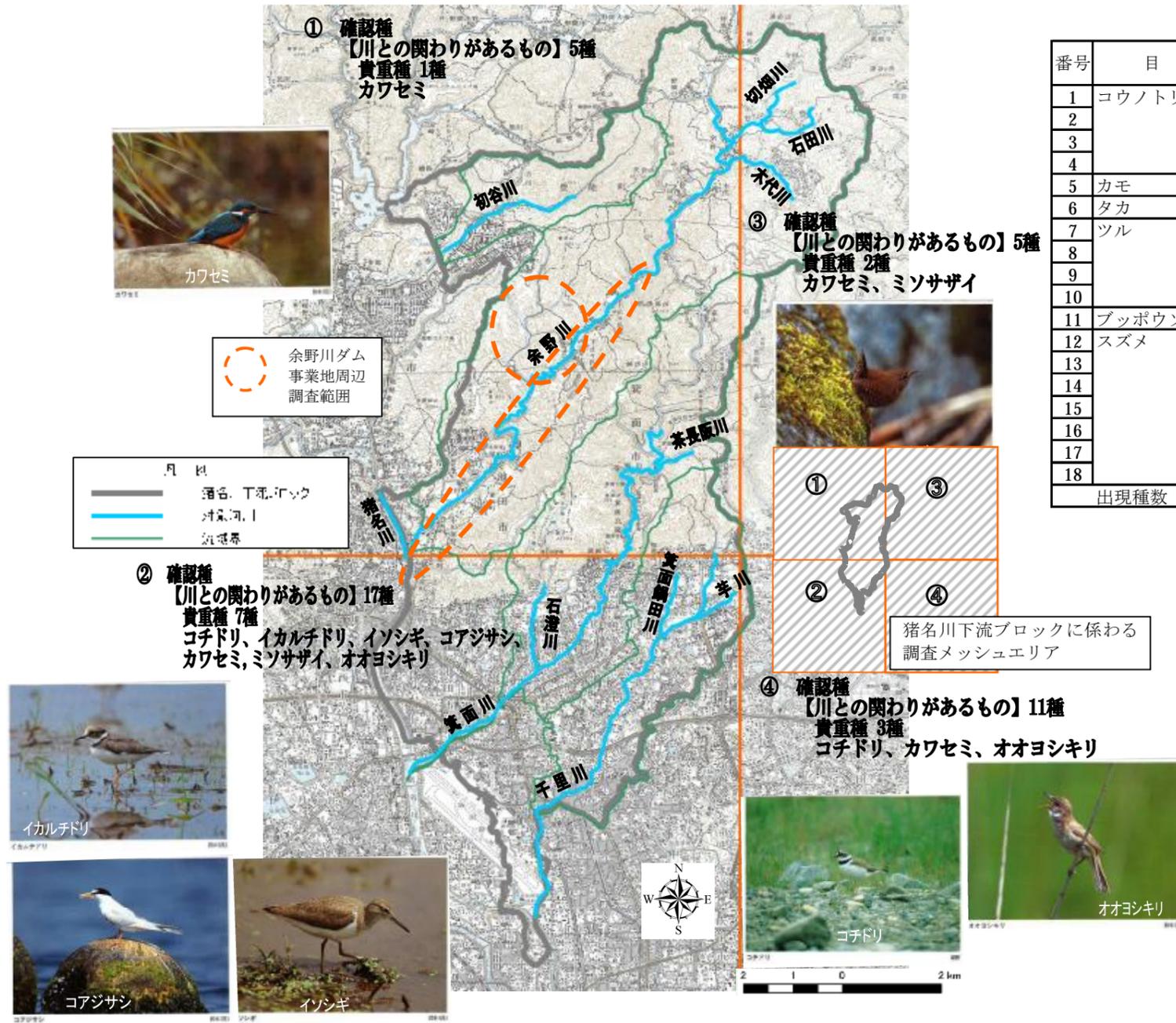


表-1.3 川とのかかわりが深い種

番号	目	科名	種名	主な川の利用形態	メッシュ番号				レッドリスト 平成18年12月	大阪府RDB 平成12年3月
					①	②	③	④		
1	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	河川区域内の樹林で繁殖		A				
2			ダイサギ	干潟、浅場等に生息		B		○		
3			コサギ	干潟、浅場等に生息		A		○		
4			アオサギ	干潟、浅場等に生息		A	A		○	
5	カモ	カモ	カルガモ	水辺近くの草むらに繁殖		○		A		
6	タカ	タカ	トビ	大きな川の河原にも生息する		○	○			
7	ツル	チドリ	コチドリ	砂礫河原で営巣する		○		B	準絶滅危惧	
8			イカルチドリ	砂礫河原で営巣する		○			絶滅危惧Ⅱ類	
9			シギ	イソシギ	広い河原で生息		○		準絶滅危惧	
10			カモメ	コアジサシ	大きな川の中州や河岸の砂礫地に営巣		A		絶滅危惧Ⅱ類	
11	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	土地がむき出しになった土手に営巣	○	○	○	B	準絶滅危惧	
12	スズメ	ヒバリ	ヒバリ	高水敷の低い草地に繁殖		B		B	準絶滅危惧	
13		ツバメ	ツバメ	山地の崖や河川構造物などに営巣		B	A	A	B	
14		セキレイ	ハクセキレイ	中州や低地の水辺を餌場とする		○				
15			セグロセキレイ	開けた河原や中洲を餌場とする		B	A	A	A	
16		カワガラス	ミソサザイ	崖、倒木、大木の根、岩の窪みに営巣			B	B		
17		ヒタキ	オオヨシキリ	河岸のヨシ原に営巣			B		B	
18			セッカ	高水敷の低い草原に営巣			B		B	
出現種数						5	17	5	11	

○ 出現種 A: 繁殖が確認されたもの B: 繁殖の可能性が高いもの

主な河の利用形態：「川の生物図典（財団法人 リバーフロント整備センター、平成8年）」及び「日本産鳥類図鑑（東海大学出版、平成4年）」を参考に記述  
 写真出典：「川の生物図典（財団法人 リバーフロント整備センター、平成8年）」  
 レッドリスト 絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種。  
 大阪府レッドデータブック（大阪府 RDB）

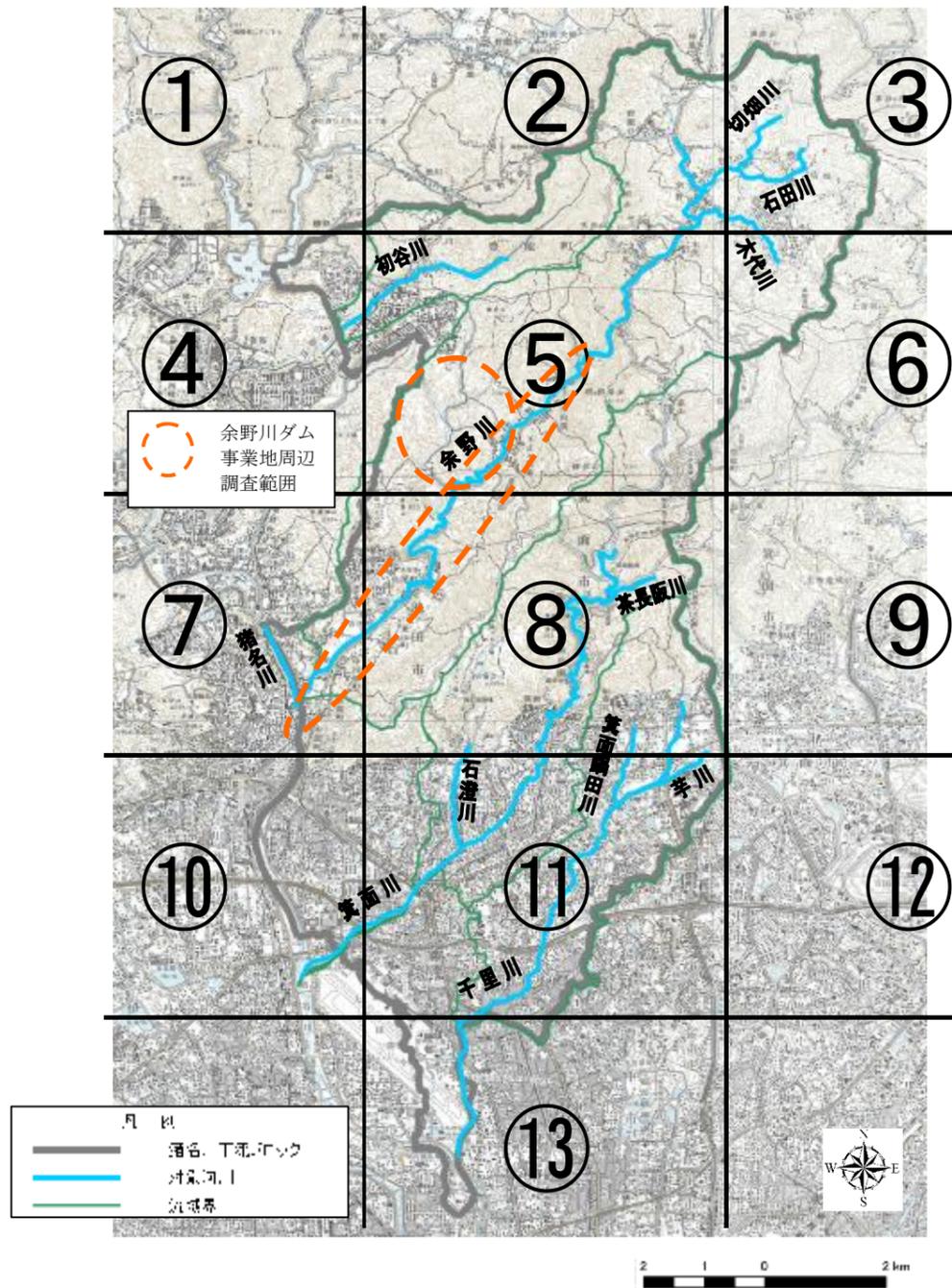
区分	
絶滅危惧Ⅰ類	絶滅の危機に瀕している
絶滅危惧Ⅱ類	絶滅の危機が増大している
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価をするだけの情報が不足している種
要注意	注目を要する種

\* 「大阪府における保護上重要な野生生物—大阪府レッドデータブック（大阪府：平成12年3月）」におけるカテゴリ-定義

第6回自然環境保全基礎調査、鳥類繁殖分布調査報告書  
 環境省自然環境局生物多様性センター、平成16年3月

図-1.6 鳥類 確認位置図

③哺乳類



外来種  
アライグマ



(京都府ホームページより)

ヌートリア



(京都府ホームページより)

写真上：(c)近藤高貴

写真下：奈良大学文学研究科安藤誠也撮影、(c)安藤誠也

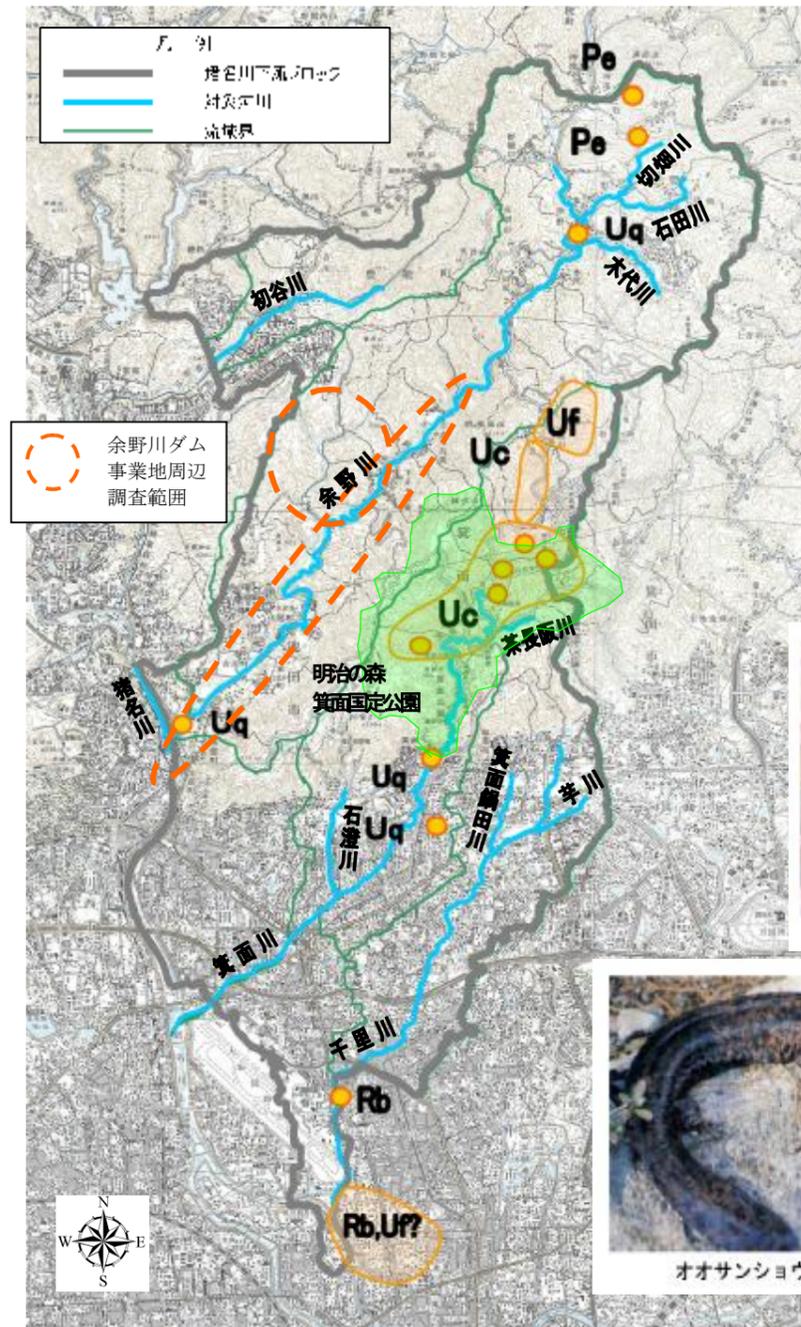
種名	メッシュ番号												
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
アナグマ	○	○■		○					○				
キツネ	○	○■	○■	○	○■	○	○	○■	○■	○■	■		○
タヌキ	○	○■	○■	○	○	○	○	○□	○	○	■		○■
ニホンイノシシ	○■	○■	○	○	○	○	○	○	○				
ニホンザル	○■	○	○		○	○		○	○				
ニホンジカ	■				○■	■		○□	○				
出現種数	6	5	4	4	5	5	3	5	6	2	2	0	2

昭和54、55年調査時出現種：○  
 昭和63～平成4年調査時出現種：■昭和60年以降に確認  
 □昭和59年以前に確認

分布出典  
 第2回自然環境保全基礎調査、動植物分布調査報告書（哺乳類）、環境庁自然保護局、昭和55年3月  
 第4回自然環境保全基礎調査、動植物分布調査報告書（哺乳類）、環境庁自然保護局、平成5年3月  
 写真出典  
 アナグマ；井の頭自然文化園 ニホンイノシシ；大阪府河南町 ニホンジカ；神戸市立王子動物園  
 ニホンザル；箕面市広報紙「もみじだより」 キツネ、タヌキ；京都市立岡崎動物園

図-1.7 哺乳類 メッシュ調査位置図

④両生・爬虫類



モリアオガエル



カスミサンショウウオ



ヒダサンショウウオ



オオサンショウウオ



ダルマガエル

表-1.4 ブロック内で確認された貴重種

種略号	種名	生息環境	大阪府レッドリスト
Rb	ダルマガエル	<ul style="list-style-type: none"> <li>平地にある流れの緩やかな河川や池沼、水田等に生息し、水田や止水に分散して産卵する。</li> <li>形態的にトノサマガエルと似るが住み分けをしている。</li> </ul>	絶滅危惧Ⅰ類
Pe	モリアオガエル	<ul style="list-style-type: none"> <li>標高 100~200mの山地に分布し、池沼、用水池、水田などを産卵場とする。</li> <li>樹上性で、変形後はすぐに木に登り、最初の包接以外は水に入ることが無い。</li> </ul>	
Uq	オオサンショウウオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>河川の上流に生息するが、山間の溪流に限らず、人家付近の小川や用水路にも見られる。昼間は、川岸の穴に潜んでいる。</li> </ul>	絶滅危惧Ⅱ類
Uf	カスミサンショウウオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>標高 400~800mの山地に生息し、森林や人里に近い水田周辺などの草地に多くみられる。</li> <li>湧水の流れ込む水田・溝・湿地などの浅い止水に産卵。</li> </ul>	絶滅危惧Ⅰ類
Uc	ヒダサンショウウオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>標高 200~1000mの森林に生息し、溪流の源流の流れのゆるい場所で産卵する。</li> <li>幼生は溪流で生息する。</li> </ul>	絶滅危惧Ⅱ種

分布出典：第2回自然環境保全基礎調査—動物分布図（大阪府）、環境庁、昭和56年  
 写真出典：同上報告書日本の重要な両生類・は虫類の分布全国版報告書、環境庁、昭和57年7月

図-1.8 両生・爬虫類 確認位置図

⑤昆虫

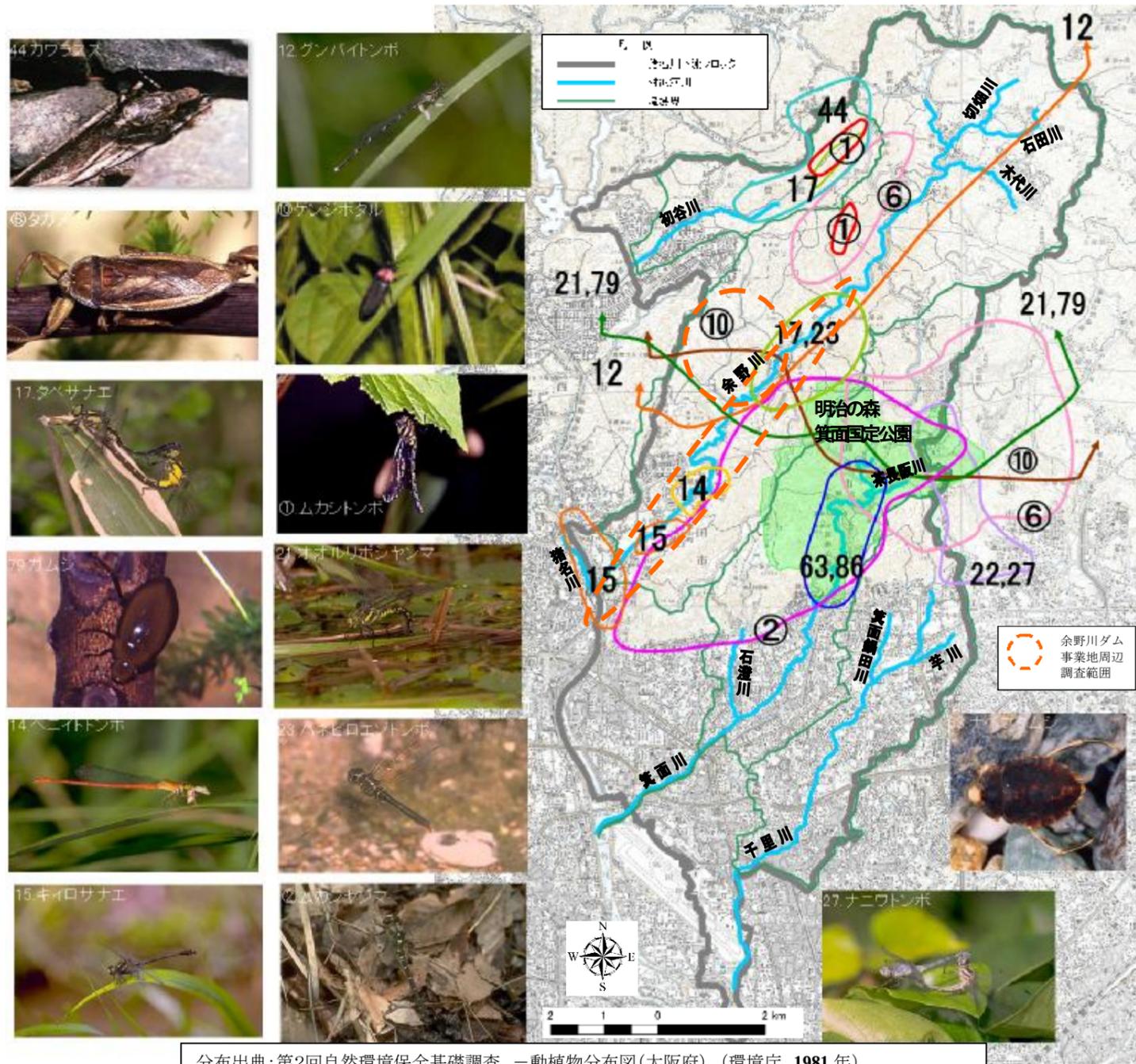


表-1.5 川との関わりの深い種

	番号	種名	主な川の利用形態	特定選定基準	レッドリスト 2015	大阪府レッドリスト H26.3
指標昆虫類	①	ムカシトンボ	幼虫期は期間が長く、山間の樹林に囲まれた溪流で、早瀬の石の下等河床の安定した場所に生息。	指		準絶滅危惧
	②	ムカシヤンマ	幼生期は水の滴る斜面のコケに覆われた崖に穴を掘って生息。	指		準絶滅危惧
	⑥	タガメ	水草のある止水域に生息	指	絶滅危惧II類	絶滅危惧II類
	⑩	ゲンジボタル	幼虫期は流れの緩やかな流水中で生息。成虫期は土堤の護岸の周辺の樹木や草等で生息。	指		
特定昆虫類	12	グンバイトンボ	小さな流れ、植生のある水路などに生息	C/G	準絶滅危惧	絶滅危惧I類
	14	ベニイトトンボ	幼生期は平地の抽水植物の多い止水域に生息。	D	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	15	キイロサナエ	幼生期は平地・丘陵地の小川に生息。	D	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	17	タベサナエ	幼生期は平地・丘陵地の浅い小川に生息。	D/G	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	21	オオルリボシヤンマ	幼生期は丘陵地・山地の抽水植物の多い水域に生息。	G		準絶滅危惧
	22	キイロヤンマトンボ	幼生期は流れが緩やかで、砂礫・砂底や河岸の植物に生息。	D		
	23	ハネビロエゾトンボ	幼生期は山間の細流や用水路、丘陵地や山地の湿地に生息。	D		絶滅危惧II類
	24	オオエゾトンボ	幼生期は流れない泥底や水際植物に生息。	D		
	27	ナニワトンボ	幼生期は平地・丘陵地の周辺に松林などのある池等に水域に生息。	D/G	準絶滅危惧	絶滅危惧II類
	44	カワラスズ	幼生期は河原の砂礫地で生息。	G		情報不足
	63	ナベブタムシ	幼生期は水がきれいで、流れのある河川の上・中流の砂礫地に生息。	D/G		
	79	ガムシ	幼生期は浅くて水生植物がよく繁茂した水域に生息。	D	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	86	ヤマトクロスジヘビトンボ	幼生期はきれいな水域で流れの速い瀬の中央部を好み、河床の石の下の隙間に生息。	G		

出典：主な川の利用形態：「川の生物図典（財団法人 リバーフロント整備センター、平成8年）」及び「トンボの調べ方（文教出版、平成17年）」を参考に記述

写真出典：ムカシトンボ、タガメ、ガムシ；大阪府営箕面公園昆虫館  
グンバイトンボ、ベニイトトンボ、キイロサナエ、ハネビロエゾトンボ、ナニワトンボ、ムカシヤンマ、オオルリボシヤンマ、タベサナエ；滋賀県立琵琶湖博物館  
ナベブタムシ；兵庫県立人と自然の博物館、カワラスズ；国土交通省天竜川上流河川事務所

指標昆虫 10 種

分布域が広く、比較的なじみがあり、かつ全体として山地から平地までの良好な自然環境の指標となる昆虫として環境庁が指定。

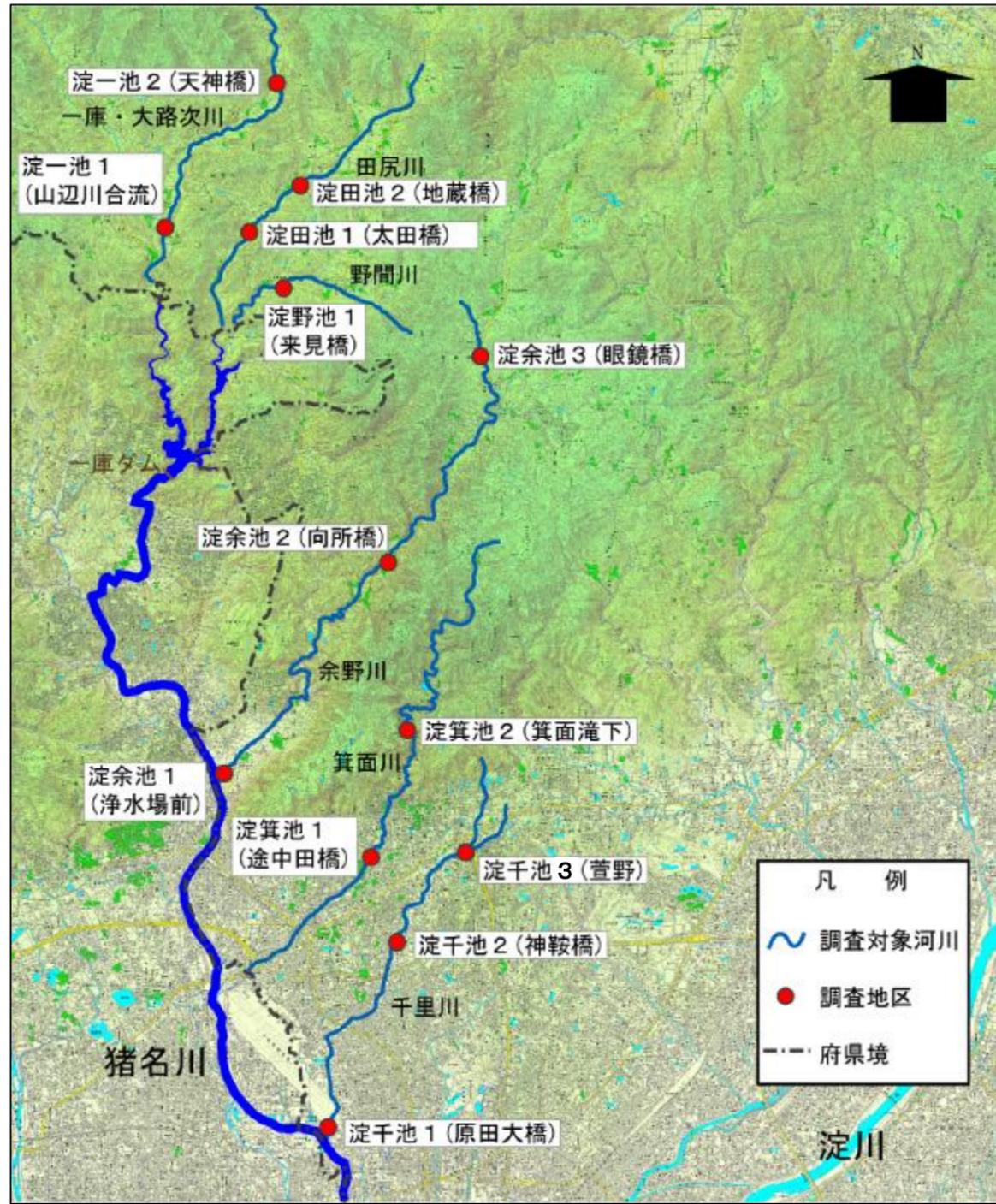
ムカシトンボ、ムカシヤンマ、ハッチョウトンボ、ガロアムシ目、タガメ、ハルゼミ、ギフチョウ、ヒメギフチョウ、オオムラサキ、ゲンジボタル

特定昆虫類 100 種：大阪府が調査対象種を選定  
特定昆虫類選定基準

記号	理由
A	日本国内でそこしか産しないと思われる種
B	分布域が国内若干の地域に限定されている種
C	普通種であっても、北限・南限などの分布限界になると思われる産地に分布する種
D	当該地域において絶滅の危機に瀕している種
E	近年当該地域において絶滅したと考えられる種
F	業者あるいはマニアなどの乱獲により、当該地域で個体数の著しい減少が心配される種
G	環境指標として適当であると考えられる種

図-1.9 昆虫の分布図

⑥魚類



調査地点

河川名	確認種数
千里川	29種
箕面川	7種
余野川	16種
猪名川下流ブロック	33種

千
箕
余
 出現河川を意味する。  
 貴重種  
 絶滅危惧II類：ニホンウナギ、ムギツク、  
 ドジョウ、ミナミメダカ  
 準絶滅危惧：タモロコ、シマドジョウ  
 ギギ、ナマス、アユ、ウキゴリ

出典：「一級河川 一庫・大路次川外河川水辺環境調査委託報告書」H27.2、大阪府

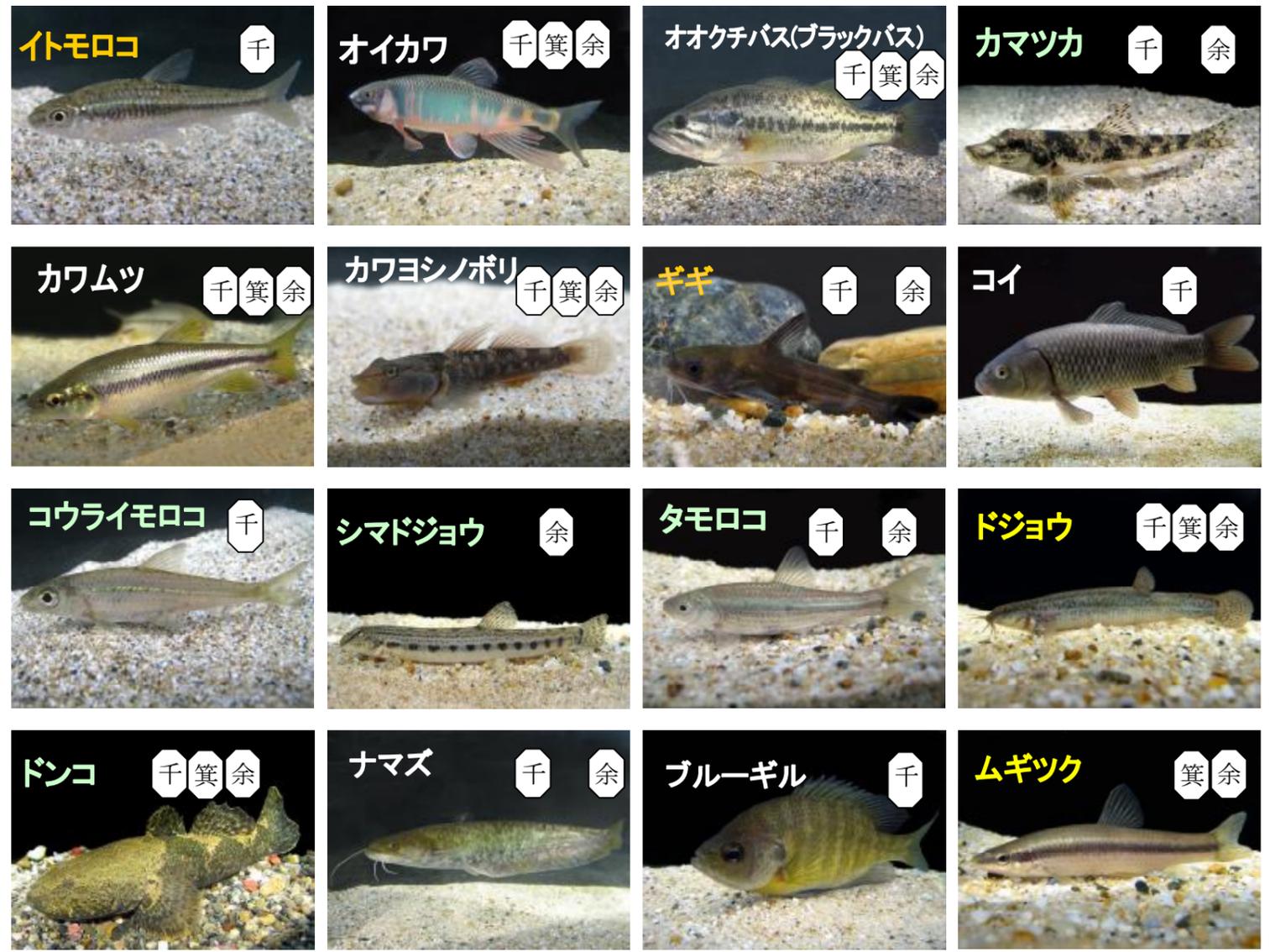


図-1.10 魚類確認種数

写真出典：大阪府水生生物センター



水生生物（底生生物）

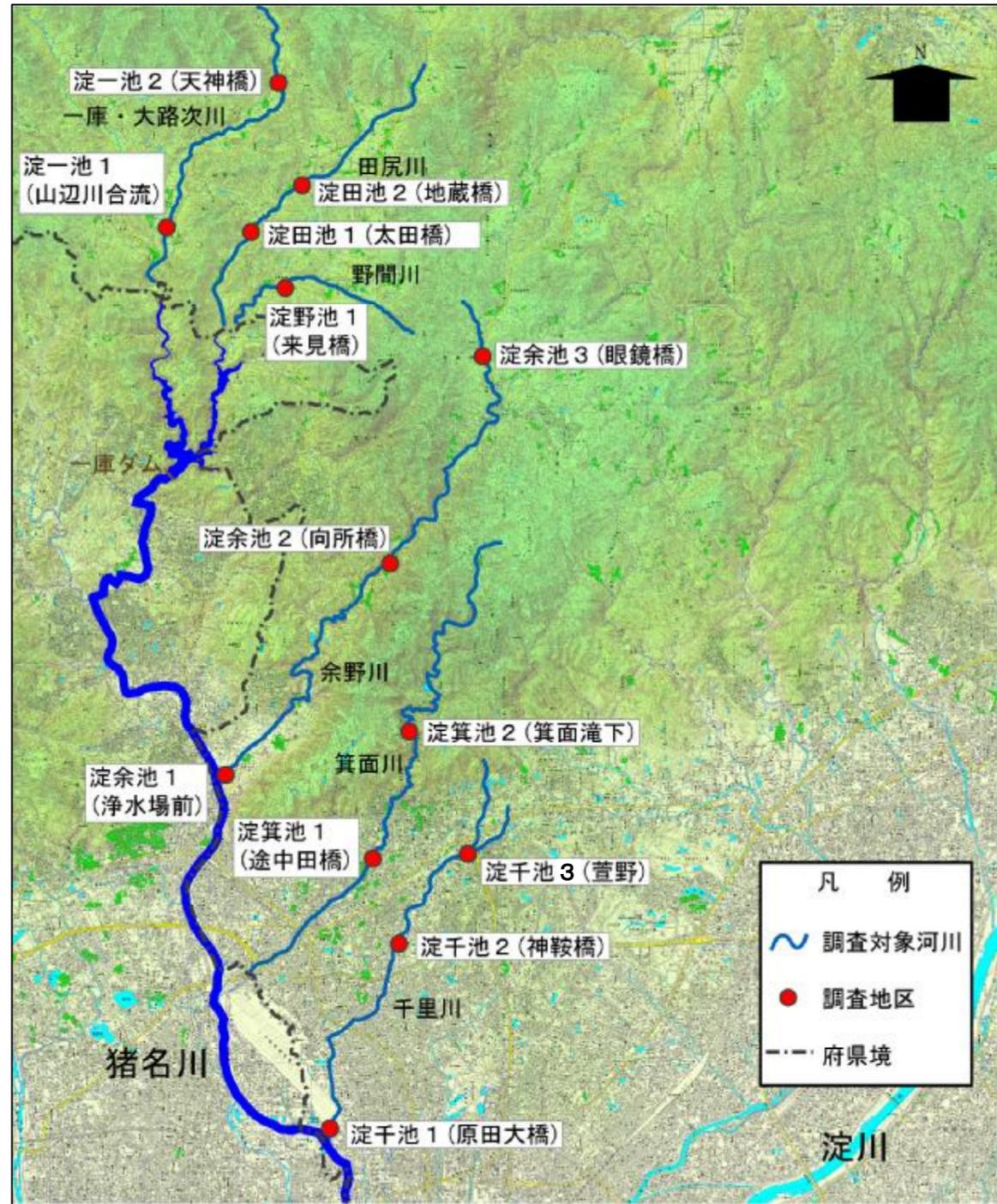


表-1.7 主な底生生物の確認状況

貴重種出現表	千里川			箕面川		余野川			大阪府 レッドリスト H26.10
	1 原田大橋	2 神鞍橋	3 萱野	4 途中田橋	5 箕面滝下	6 浄水上前	7 向所橋	8 眼鏡橋	
モノアラガイ				○		○			絶滅危惧Ⅰ種
マシジミ			○					○	絶滅危惧Ⅱ種
ミズカマキリ								○	準絶滅危惧
フタスジキソトビケラ							○		準絶滅危惧
シジミガムシ						○			情報不足
出現種数	1			1		5			



写真出典：環境省国立環境研究所全国水生生物のページ





表-1.8 底生生物確認状況(3/4)

No	綱名	目名	科名	種名	千里川												箕面川												余野川											
					淀干池1				淀干池2				淀干池3				淀箕池1				淀箕池2				淀余池1				淀余池2				淀余池3							
					H13	H16	H23	H26	H13	H16	H23	H26	H13	H16	H23	H26	H16	H23	H26	H16	H23	H26	H7	H13	H16	H23	H26	H7	H13	H16	H23	H26	H7	H13	H16	H23	H26			
141	昆虫	トビケラ(毛翅)	シマトビケラ	ウルマーシマトビケラ				●																																
142	-	-	-	ナカハラシマトビケラ																																				
143	-	-	-	シマトビケラ属																																				
144	-	-	-	オオシマトビケラ																																				
145	-	-	-	エチゴシマトビケラ																																				
146	-	-	-	シマトビケラ科																																				
147	-	-	-	イワトビケラ																																				
148	-	-	-	クダトビケラ																																				
149	-	-	-	ヒゲナガカワトビケラ																																				
150	-	-	-	ヒゲナガカワトビケラ属																																				
151	-	-	-	ヤマトビケラ																																				
152	-	-	-	コヤマトビケラ属																																				
153	-	-	-	イノフスヤマトビケラ																																				
154	-	-	-	ヤマトビケラ属																																				
155	-	-	-	ヤマトビケラ科																																				
156	-	-	-	カワリナガレトビケラ																																				
157	-	-	-	ツメナガナガレトビケラ																																				
158	-	-	-	ヒメトビケラ																																				
159	-	-	-	ヒメトビケラ属																																				
160	-	-	-	ヒロアタマナガレトビケラ																																				
161	-	-	-	クレメンテナガレトビケラ																																				
162	-	-	-	カワムラナガレトビケラ																																				
163	-	-	-	キノナガレトビケラ																																				
164	-	-	-	レゼイナガレトビケラ																																				
165	-	-	-	ムナグロナガレトビケラ																																				
166	-	-	-	トランスクリナガレトビケラ																																				
167	-	-	-	ヤマナカナガレトビケラ																																				
168	-	-	-	ナガレトビケラ属																																				
169	-	-	-	コエグリトビケラ																																				
170	-	-	-	ヒラタクエグリトビケラ																																				
171	-	-	-	コエグリトビケラ属																																				
172	-	-	-	カクツツトビケラ																																				
173	-	-	-	マルツツトビケラ属																																				
174	-	-	-	ニンギョウトビケラ																																				
175	-	-	-	ニンギョウトビケラ属																																				
176	-	-	-	オオカクツツトビケラ																																				
177	-	-	-	コカクツツトビケラ																																				
178	-	-	-	カクツツトビケラ属																																				
179	-	-	-	ヒゲナガトビケラ																																				
180	-	-	-	タテヒゲナガトビケラ属																																				
181	-	-	-	アオヒゲナガトビケラ属																																				
182	-	-	-	クサツミトビケラ属																																				
183	-	-	-	セトトビケラ属																																				
184	-	-	-	センカイトビケラ属																																				
185	-	-	-	ヒメセトトビケラ																																				
186	-	-	-	ヒゲナガトビケラ科																																				
187	-	-	-	エグリトビケラ																																				
188	-	-	-	スジトビケラ属																																				
189	-	-	-	ホタルトビケラ																																				
190	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
191	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
192	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
193	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
194	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
195	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
196	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
197	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
198	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
199	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
200	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
201	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
202	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
203	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
204	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
205	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
206	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
207	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				
208	-	-	-	ホタルトビケラ属																																				



※) 流域内ではなく、市および町全体の値である。

(2) 社会環境特性

1) 人口

ブロック内の各市町の人口（平成 27 年国勢調査）は、豊中市が **395,479** 人、池田市 **103,069** 人、箕面市 **133,411** 人、豊能町 **19,934** 人です。

豊中市の人口は、昭和 30 年代から昭和 50 年頃に急増し、その後は横ばいから減少傾向となっていました。平成 22 年から再び増加傾向となっています。池田市の人口は、昭和 30 年代から昭和 50 年頃に急増し、その後は微増傾向と微減傾向を繰り返しています。箕面市の人口は、昭和 30 年代から平成 27 年まで概ね増加傾向が続いています。豊能町の人口は、昭和 30 年代から増加傾向を続けてきましたが、平成 7 年をピークとしてその後は減少傾向となっています。

世帯数（平成 27 年国勢調査）は、豊中市が **170,325** 世帯、箕面市 **56,829** 世帯、池田市 **45,777** 世帯、豊能町 **7,760** 世帯となっており、ブロック全体では増加傾向です。



図-1.13 豊中市・箕面市・池田市・豊能町の人口の推移(昭和 35 年～平成 27 年)

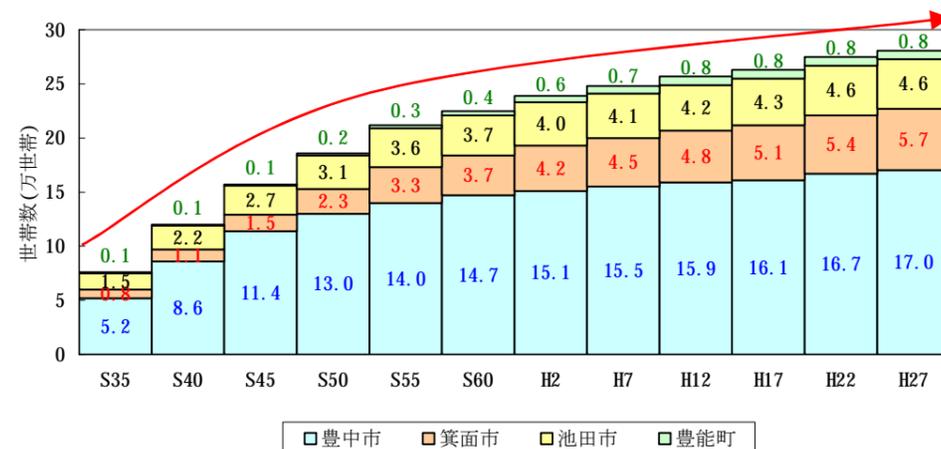


図-1.14 豊中市・箕面市・池田市・豊能町の世帯数の推移(昭和 35 年～平成 27 年)

出典: 国勢調査

2) 産業

猪名川下流ブロック内の産業の特徴としては、北部（主に豊能町、箕面市北部）の農林業を中心にそれらの加工業、中部（主に池田市、箕面市南部）の江戸時代から続く酒造業や樹木、最近では繊維業や観光業など、南部（池田市、豊中市）の阪神工業地帯に隣接した地域では、その立地を活かした製造業が盛んです。流域内には、大阪国際空港があり、それに伴う航空関連産業なども見られます。

事業所数および従業員数は 3 市 1 町ともに第 3 次産業が占める割合が多く、とりわけ、豊中市に多く集中しています。

事業所数は昭和 50 年代にかけて急増し、ピークは豊中市で平成 3 年、池田市と豊能町は昭和 61 年、箕面市は平成 21 年となっています。豊中市と池田市ではピーク後は減少傾向に転じ、箕面市は近年ではほぼ一定、豊能町は平成 18 年から減少傾向となっています。従業者数は、事業所数の増減傾向に合わせて変動しています。

事業所数は豊中市が最も多く、平成 24 年の 3 次産業では **11,363** 箇所、箕面市は **3,710** 箇所、池田市は **3,282** 箇所、豊能町は **251** 箇所となっています。第 2 次産業も豊中市が最も多く **2,216** 箇所あり、箕面市は **458** 箇所、池田市は **360** 箇所、豊能町は **73** 箇所、箕面市と池田市では第 2 産業の事業所数の割合は豊中市と比べて小さいものとなっています。

従業員数は、第 3 次産業では豊中市は **101,622** 人、箕面市は **35,850** 人、池田市は **26,217** 人、豊能町は **1,678** 人で、第 2 次産業では豊中市は **21,931** 人、箕面市は **4,126** 人、池田市は **11,975** 人、豊能町は **429** 人となっています。箕面市では第 2 次産業の従業員の割合は他の 2 市 1 町と比べて小さなものとなっています。

なお、第 1 次産業については主な産業である農業の事業所登録が少なく、従事者数も少ないものとなっています。

農業については近年、経営耕地面積、農家戸数、農家人口ともに減少傾向にあります。平成 2 年からの傾向を見ますと、経営耕地面積は豊中市と箕面市で大きく減少しています。特に豊中市は全域が市街化区域で、農地としての土地利用の担保力が弱く、経営耕地面積および農家人口が 5 割以下に減少しています。山間の豊能町でも、経営耕地面積および農家戸数は約 2 割、農家人口は約 3 割減少しています。

池田市では「植木」「池田酒」、箕面市では「びわ」「ゆず」「栗」「菊炭」「箕面地ビール」「もみじの天ぷら」、豊能町では「かあちゃん漬」「かあちゃんみそ」「柚子豆」「しいたけ」「ふるさと納豆」「みかげ石」、といった特産品があります。

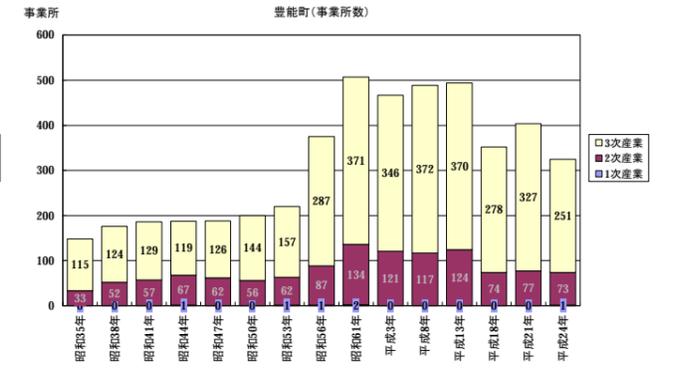
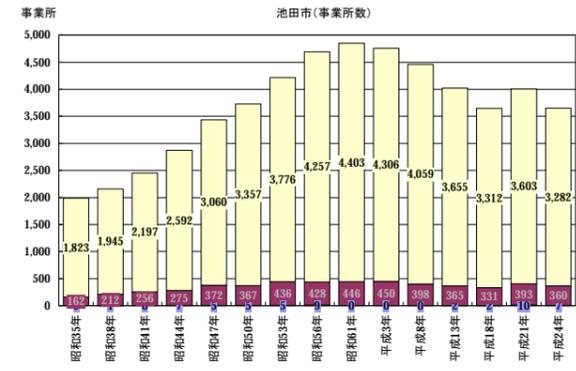
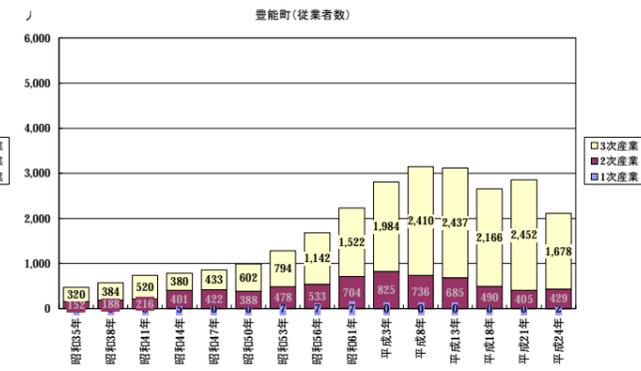
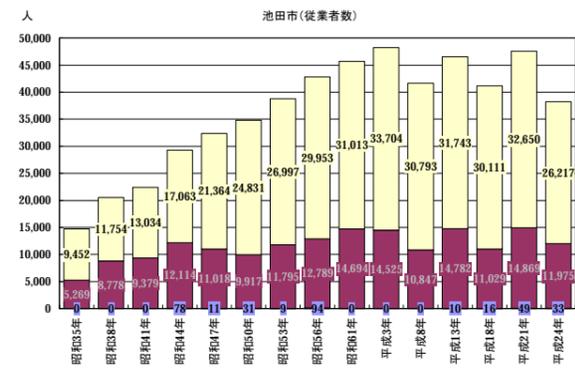
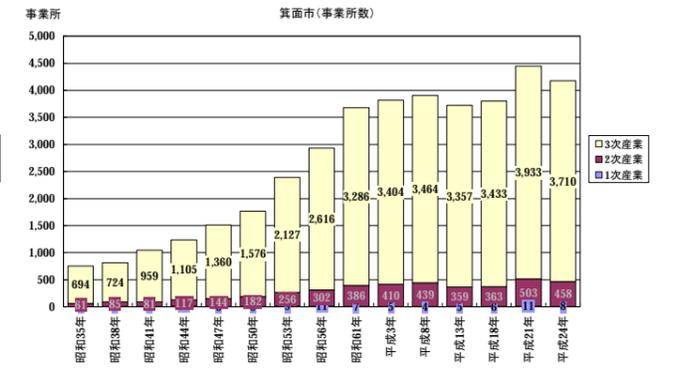
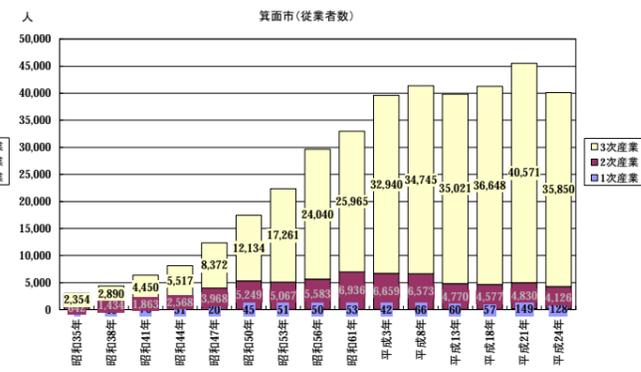
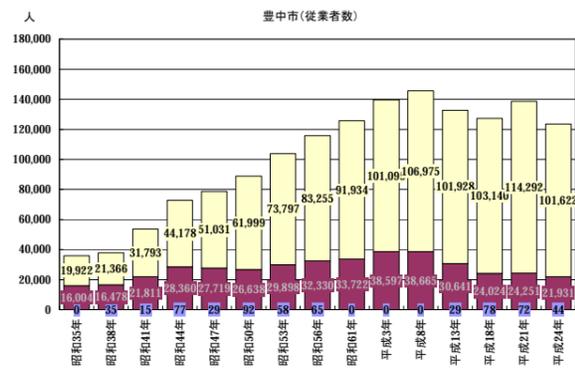


図-1.15 産業別従業者数の推移

出典:大阪府統計年鑑

図-1.16 産業別事業所数の推移

出典:大阪府統計年鑑

### 3) 土地利用

猪名川下流ブロックは山地が5割を占め、人口の増加とともに低地、丘陵地さらに山麓周縁まで市街化され、市街地が4割、田畑が1割の構成となっています。

南部の丘陵地・低平地では昭和40年代までに急激に市街化されました。土地利用現況図を見ると、昭和41年から昭和49年に大きく変化しています。昭和48年は平成18年現在とほぼ変わらない状況になっています。昭和50年代以降の人口の増加が安定期に入ってから以降は北部の丘陵地で住宅地の開発が進み、余野川流域では池田市伏尾台、豊能町希望が丘、初谷川流域では豊能町のときわ台、光風台などの大規模に開発された住宅地が見られます。平成19年10月に、余野川流域の箕面市上止々呂美、下止々呂美地区に開発面積313.5ha、計画居住人口約9,600人（計画戸数約2,900戸）の「水と緑の健康都市（箕面森町）」が街開きしました。

平成以降は、人口が横ばい傾向にあることから、今後、大幅な土地利用の変化はないものと考えます。

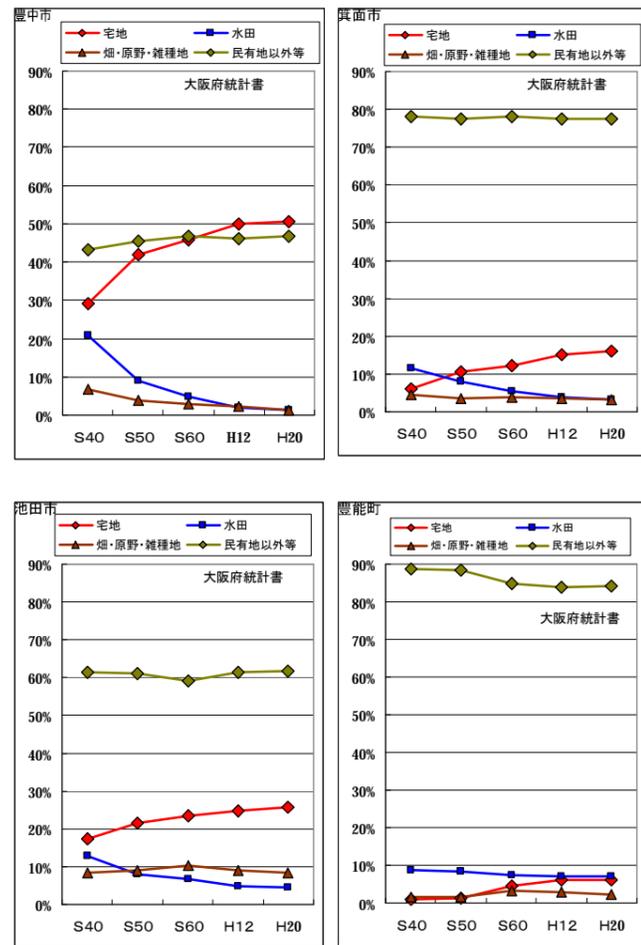


図-1.17 土地利用割合の経年変化

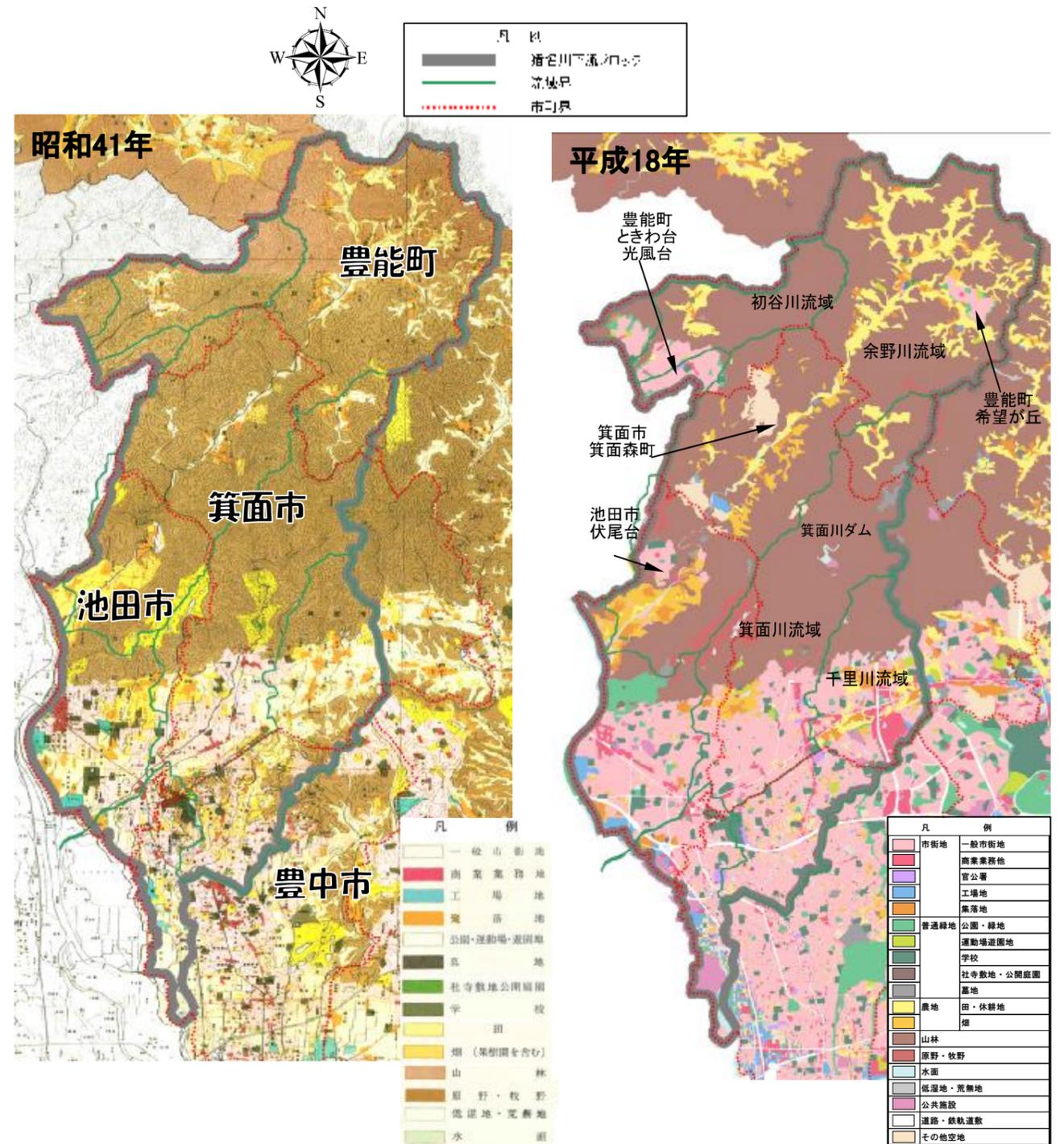


図-1.18 土地利用状況図

出典：大阪府土地利用現況図（昭和41年、平成18年）

#### 4) 歴史・文化・観光

猪名川下流ブロックには古くは京都から西宮を結ぶ西国街道が走り、かつては西国大名の参勤交代の道として本街道の大阪経由よりもよく利用されました。山間部には寺社が建立され、信仰の場として修験者が行き交いました。現在、国指定重要文化財の「金禅寺三重宝篋印塔」、「如意輪観音坐像（瀧安寺）」、「久安寺の楼門」、「木造阿弥陀如来坐像（久安寺）」をはじめ、多くの歴史文化施設等が残されています。

無形文化財として池田市五月山の「愛宕火（市指定）」や箕面市白島の「白島の太鼓念仏（府指定）」があります。

##### ○歴史・文化施設

	指定関係	施設名	位置図番号
豊中市	国指定	金禅寺三重宝篋印塔	1
	府指定	金禅寺木造十一面観音立像	1
		金寺廃寺塔刹柱礎石（看景寺）	2
		麻田藩主邸表玄関（報恩寺）	3
	市指定	麻田藩陣屋門	4
		木造漆箔薬師如来坐像（春日神社）	5
		木造漆箔阿弥陀如来坐像（円満寺）	6
		桜井谷2-19号窯跡	7
		桜井谷2-24号窯跡	8
蘇鉄（安楽寺）		9	
箕面市	国指定	如意輪観音坐像（瀧安寺）	10
	府指定	瀧安寺富籤箱一式（瀧安寺）	10
		萱野三平旧邸長屋門	11
		石造宝篋印塔（下止々呂美薬師堂）	12
	市指定	瀧安寺文書（瀧安寺）	10
		一石六地藏及び逆修衆石仏	13
		（の）字状垂飾（郷土資料館）	14
		如意谷銅鐸出土庫（郷土資料館）	14
如意谷銅鐸出土庫（郷土資料館）		14	
池田市	国指定	木造阿弥陀如来坐像（久安寺）	15
		久安寺楼門（久安寺）	15
	府指定	宝篋印塔（無二寺）	16
		綿本蕃色涅槃図（久安寺）	15
	市指定	久安寺縁起（久安寺）	15
		木造増長天立像（久安寺）	15
		木造薬師如来立像（久安寺）	15
		木造十一面観音立像（永興寺）	17
		伝唐船が淵	18
		麻田藩主青木家累代の墓（仏日寺）	19
		木造阿弥陀如来坐像（市立養護老人ホーム）	20
伝弁慶の泉		21	
豊能町	府指定	旧走湯天王社の石槽（法性寺）	22

備考：個人等の所有文化財を除く。



図-1.19 猪名川下流ブロック内の歴史、文化、観光施設

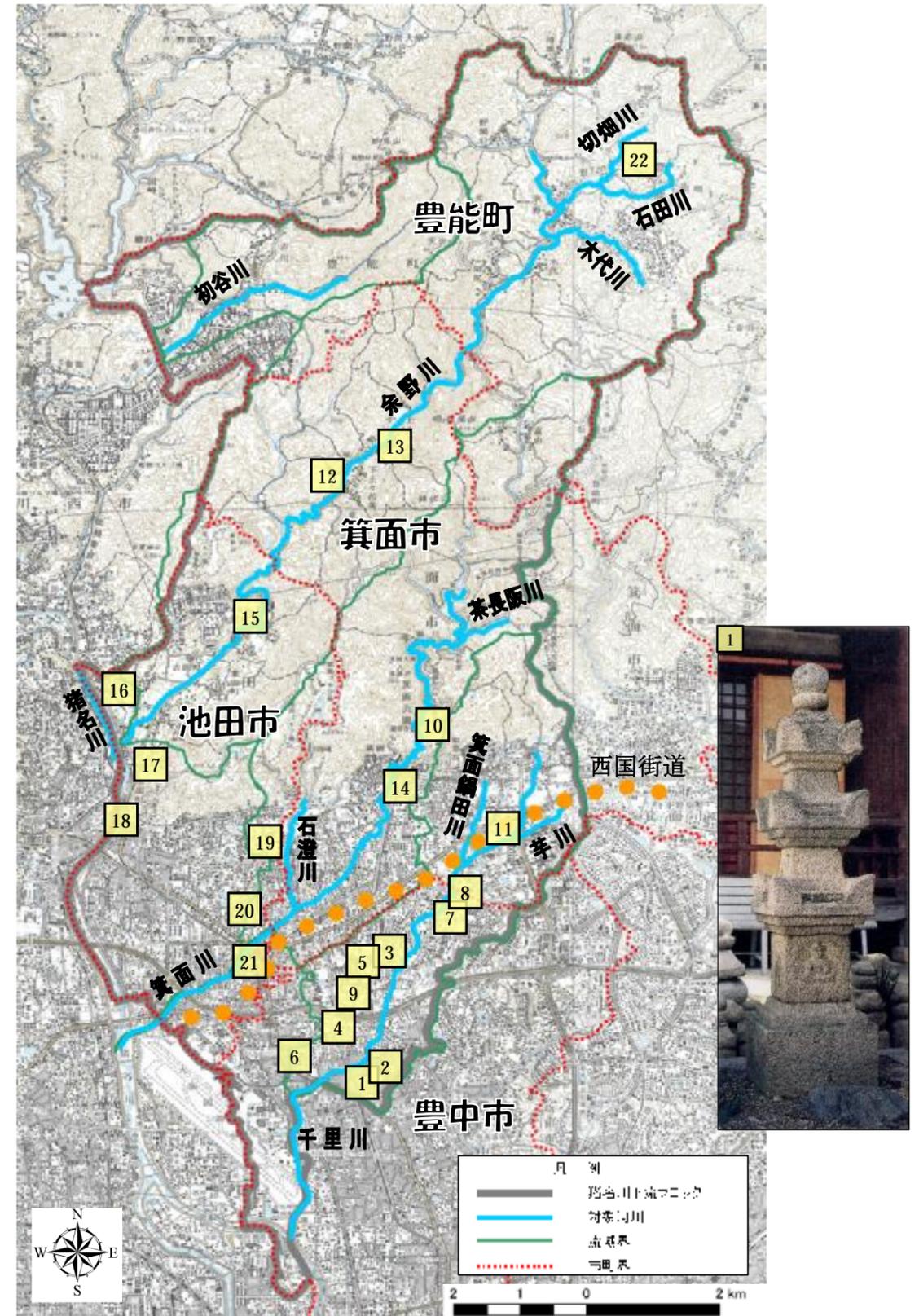


図-1.20 文化財位置図

【豊中市】 出典：豊中の文化財（豊中市教育委員会）

1. 金禅寺三重宝篋印塔（国指定重要文化財）

金禅寺の本堂右前には、在銘の三重宝篋印塔があります。塔は各部分とも花崗岩を用材とし、現在失われている相輪の部分を加えて6個の部材からできています。

基礎部の刻銘より、南北朝時代に、何人、何十人かの人達が結集し、浄財を出しあって建立したものであることがわかります。



金禅寺木造十一面観音立像（府指定文化財）

金禅寺には、前身寺院時代の十一面観音立像があり、本堂中央の厨子の内部に秘仏として安置されています。

桧材の寄木造りで、彩色はほとんどなく、素地のままです。鎌倉時代末の年号の墨書があり、豊中市内における数少ない在銘仏像の中に連ねることができます。



2. 金寺廃寺塔刹柱礎石（府指定文化財）

江戸時代に、飛鳥時代後期の創建と考えられる金寺山廃寺跡から看景寺に移置されたもので、金寺山廃寺の塔の心礎とされます。



【箕面市】 出典：ふるさと箕面の文化財（箕面市）

10. 瀧安寺

白雉元年（650年）役小角が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、現在もなお、山岳信仰修験道の根本道場として、全国各地から修験者が集まり、大護摩法要が毎年4・7・11月に行われています。

如意輪観音坐像（国指定重要文化財）、富籤箱一式（府指定文化財）等の重要な文化財があります。



11. 萱野三平旧邸長屋門（府指定文化財）

江戸元禄時代、俳人としても著名な萱野三平は、赤穂浪士の一員として名を連ねていましたが、父親が強く反対し、三平は忠と孝の板ばさみとなり、自宅長屋門で自刃しました。旧邸内の北西隅には、辞世の一句を刻んだ句碑があります。

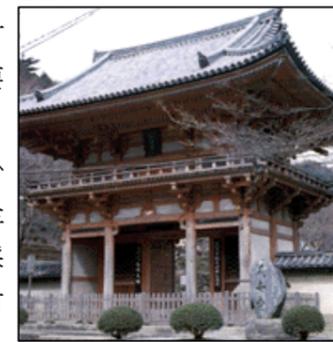
「晴れゆくや 日ごろ心の 花曇り」 涓泉  
管理棟「涓泉亭」には、多くの資料が展示されています。



【池田市】 出典：池田の文化財（池田教育委員会）

15. 久安寺の楼門（国指定重要文化財）

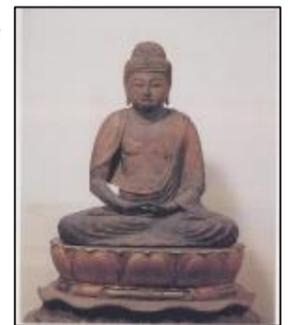
久安寺は由緒ある古寺で、楼門は国の重要文化財です。間口3間、奥行2間の楼門は、ひろびろとした感じの全面解放の仏像形式を採用した特異な構造で有名です。



久安寺の楼門

木造阿弥陀如来坐像（国指定重要文化財）

桜の一木造で藤原時代末の作と推定されます。阿弥陀堂の本堂の本尊として安置されていたと考えられています。



木造阿弥陀如来坐

16. 石造宝篋印塔 [無二寺]（府指定文化財）

隅飾突起の蓮華座の上に、蕨手文を施した、他に例が少ない塔であり、基礎には、僧俗あわせて13人の名前が彫られています。南北朝時代の貴重な石造美術品です。



【豊能町】 出典：豊能町 HP

22. 旧走湯天王社の石槽 [法性寺]（府指定文化財）

石材は花崗岩、長辺 2m、短辺 1.3m、内法は各 1.5、0.8m、深さ 0.5m。製作は鎌倉時代と推定されています。



【行事・イベント】

猪名川下流ブロックでは、各市の特徴により、様々な行事・イベントが行われています。  
 箕面市・池田市では、伝統や箕面の滝の紅葉や五月山の桜などの地域の名所を生かした行事・イベントが行われています。  
 豊能町では、自然の恵みを生かした行事・イベントが行われています。  
 豊中市では、ブロック内で開催される著名な行事・イベントはみられません。

表-1.9 行事・イベント一覧

1月	写真	8月	写真
・どんど焼き（豊能町）		・市民カーニバル石橋まつり（池田市）	
・恵比須祭り（池田市）		・鮎まつり（池田市）	
・瀧安寺富くじ（箕面市）		・箕面大滝ライトアップ（箕面市）	7
・尊鉢厄神大祭（池田市）		・マンドロ（万灯籠）（箕面市）	
・勝尾寺初はらい荒神大祭（箕面市）		・がんがら火祭り（池田市）	8
・かるた（小倉百人一首）競技会（池田市）		・ジャズ・ピクニック・イン・猪名川（池田市）	
		・猪名川花火大会（池田市）	9
2月		・豊中まつり（豊中市）※	
・みのお公園温泉まつり（箕面市）			
・帝釈寺星まつり（箕面市）	1	9月	
		・コスモス（豊能町）	10
3月		・栗拾い（豊能町）	
・真菜まつり（豊能町）	2	・東光院萩まつり道了祭（豊中市）※	
4月		10月	
・町内観光ツアー（豊能町）		・秋祭り（池田市）	
・池田五月山さくらまつり（池田市）	3	・春日神社まつり（箕面市）	
・ぼたん祭り（池田市）		・天狗まつり（箕面市）	11
・瀧安寺行者堂戸閉法要（箕面市）		・秋祭り（豊能町）	
・五月山春のフェスティバル（池田市）		・神田祭り（池田市）	
・市民レングまつり（豊中市）※		・豊悠まつり（豊能町）	
		・商業祭（池田市）	
5月		11月	
・弁慶祭り（池田市）		・町民祭・農業祭（豊能町）	
・新緑カーニバル（箕面市）		・IKEDA文化DAY（池田市）	
・さつき展（池田市）	4	・もみじまつり（箕面市）	
		・もみじまつり（池田市）	
6月		・いけだ・いらっしゃいフェスティバル（池田市）	
・花菖蒲まつり（池田市）	5	・いけだラーメンフェスタ（池田市）	
・余野川アユ釣り解禁（箕面市・豊能町）		・観光フォトコンテスト（豊能町）	
		・菊花展（池田市）	
7月		・瀧安寺開山忌大護摩法要（箕面市）	6
・箕面まつり・サマーフェスタ（箕面市）		・農業祭（池田・箕面・豊中各市）	
・細河まつり（池田市）			
		12月	
出典：豊能地区広域観光推進協議会 「風物詩カレンダー」から3市1町抜粋		・年末餅つき大会（豊能町）	
※：猪名川下流ブロック域外が開催中心地		・みのお市民ツリー（箕面市）	12

1. 帝釈寺星まつり(箕面市)



2. 真菜まつり(豊能町)



3. 池田五月山さくらまつり(池田市)



4. さつき展(池田市)



5. 花菖蒲まつり(池田市)



6. 瀧安寺開山忌大護摩法要(箕面市)



7. 箕面大滝ライトアップ(箕面市)



8. がんがら火祭り(池田市)



9. 猪名川花火大会(池田市)



10. コスモス(豊能町)



11. 天狗まつり(箕面市)



12. みのお市民ツリー(箕面市)



5) 交通

猪名川下流ブロック内には、古くから西国街道が通り、箕面市の瀬川（箕面川と石澄川の合流点近く）には宿場（瀬川宿）が置かれ、現在の石橋駅付近は大阪市内方面から来る能勢街道との結節点でありました。能勢街道は、池田市木部町付近で撰丹街道（概ね現在の国道 423 号）を分け、それぞれ丹波方面に向かう街道でした。

この付近は、現在でも阪急宝塚線、箕面線、大阪モノレール線、中国自動車道や阪神高速、国道 171 号、国道 176 号、中央環状線などの結節点となっています（池田市、豊中市、箕面市の境界付近）。現在、北大阪急行線の千里中央駅から北へ 2.5 km 延伸し、新駅を 2 つ作る「北大阪急行延伸事業」が進められております。

北部は山地部となっているため、猪名川や余野川、初谷川沿いに国道 173 号、423 号、477 号、能勢電鉄妙見線が通ります。南部は、市街地、住宅地であるため、阪急電鉄宝塚線、阪急電鉄箕面線などが整備されています。

現在は、ブロック北部を横過する新名神高速道路の建設が進められており、箕面市市街から止々呂美付近へ平成 19 年に開通した箕面グリーンロードとの接続地点に箕面 IC（仮称）が設置される予定です。

また、平成 6 年 9 月には関西国際空港、平成 18 年 2 月には神戸空港が開港しましたが、都心に近い大阪国際空港は多くの旅客に利用されています。

表-1.10 ブロック内主要道路の自動車交通量(平日昼間 12 時間)

図番号	路線名	観測地点	平日12時間 自動車類交通量	混雑度 ※1	大型車混入率 ※2	交通量の伸び (H17/H11)
①	国道176号	豊中市蛸池東町1丁目	12,260	1.43	6.7	0.98
②	豊中亀岡線	豊中市春日町3丁目	4,118	0.62	12.1	0.90
③	大阪中央環状線	豊中市桜の町3丁目	71,310	1.47	16.3	1.10
④	国道171号	箕面市半町4丁目	29,733	1.29	12.3	0.99
⑤	国道423号	箕面市坊島4丁目	24,252	1.19	8.5	1.15
⑥	箕面池田線	箕面市新稲3丁目	8,182	1.64	5.8	1.17
⑦	高速大阪池田線	池田市木部町	11,685	0.30	14.1	1.11
⑧	国道171号	池田市天神1丁目	25,830	1.22	18.3	1.00
⑨	国道423号	池田市伏尾町9丁目	7,564	1.39	29.1	1.06
⑩	国道477号	豊能町光風台6丁目	4,358	0.58	5.9	0.98
⑪	茨木能勢線	豊能町字高山	1,758	0.35	22.6	0.76
⑫	余野車作線	豊能町字中野東	1,284	0.17	11.3	0.99

※1 混雑度 調査単位区間の交通量に対する交通量の比

※2 大型車混入率 自動車交通量に対する大型車交通量の割合(%)

出典:「道路交通静態調査表」(道路交通センサス)平成17年度(大阪府交通道路室)

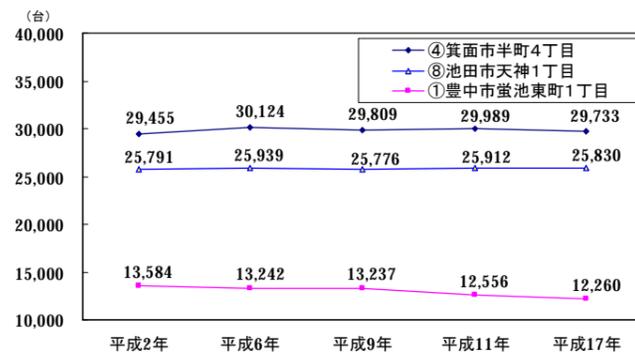


図-1.21 豊中市、池田市、箕面市の道路交通量推移(平日昼間 12 時間)

出典:「道路交通センサス」(国土交通省)

表-1.11 鉄道乗車人員(平成 19 年)

鉄道名	線名	駅名	1日平均乗車人員(人)		定期利用者の割合(%)
			総数	うち定期	
阪急電鉄	宝塚線	豊中	26,041	11,238	43.2
		蛸池	19,110	6,651	34.8
		石橋	23,166	10,968	47.3
	箕面線	池田	26,367	11,239	42.6
		石橋	1,386	551	39.8
		桜井	5,915	2,775	46.9
能勢電鉄	妙見線	牧落	4,163	1,818	43.7
		箕面	9,059	3,391	37.4
		光風台	2,569	1,635	63.6
		ときわ台	1,930	1,183	61.3
		妙見口	1,086	475	43.7
大阪高速鉄道 (大阪モノレール)	本線	大阪空港	7,126	450	6.3
		蛸池	10,656	3,363	31.6
		柴原	4,117	1,416	34.4
		少路	4,088	1,811	44.3

出典:「大阪府統計年鑑」(「阪急電鉄株式会社」、「大阪高速鉄道株式会社」資料)

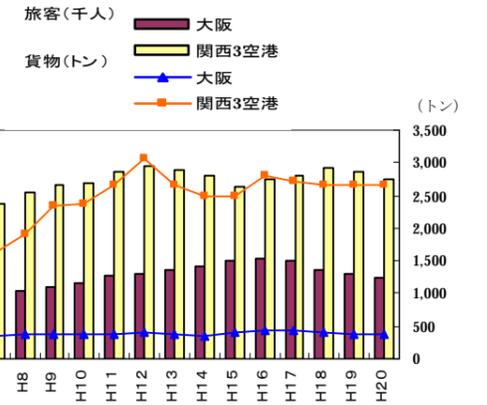


図-1.22 空港の旅客数と貨物量

出典:「大阪国際空港問題の概要」(H21.3/豊中市)

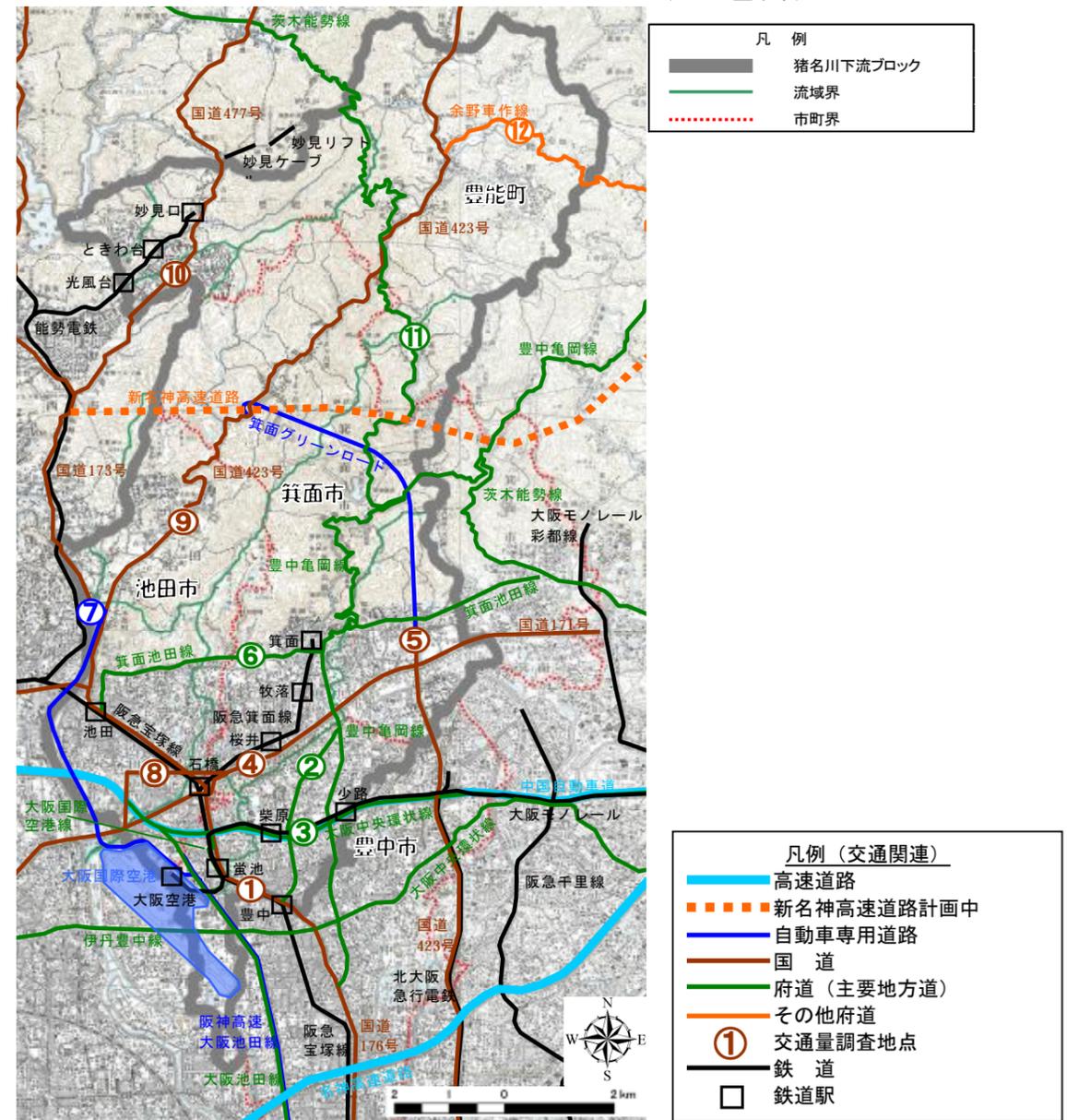


図-1.23 猪名川下流ブロック内の主要交通網図

### 3. 河川の特性

#### (1) 猪名川

猪名川は、上流の兵庫県境から余野川が合流するまでの **1.195km** が大阪府の指定区間となっており、国土交通省の直轄管理区間につながります。対岸の兵庫県側（右岸）は住宅地として開発されていますが、大阪府側（左岸）は田園地帯となっています。河床勾配は平均で約 **1/780** です。右岸は兵庫県管理区間です。

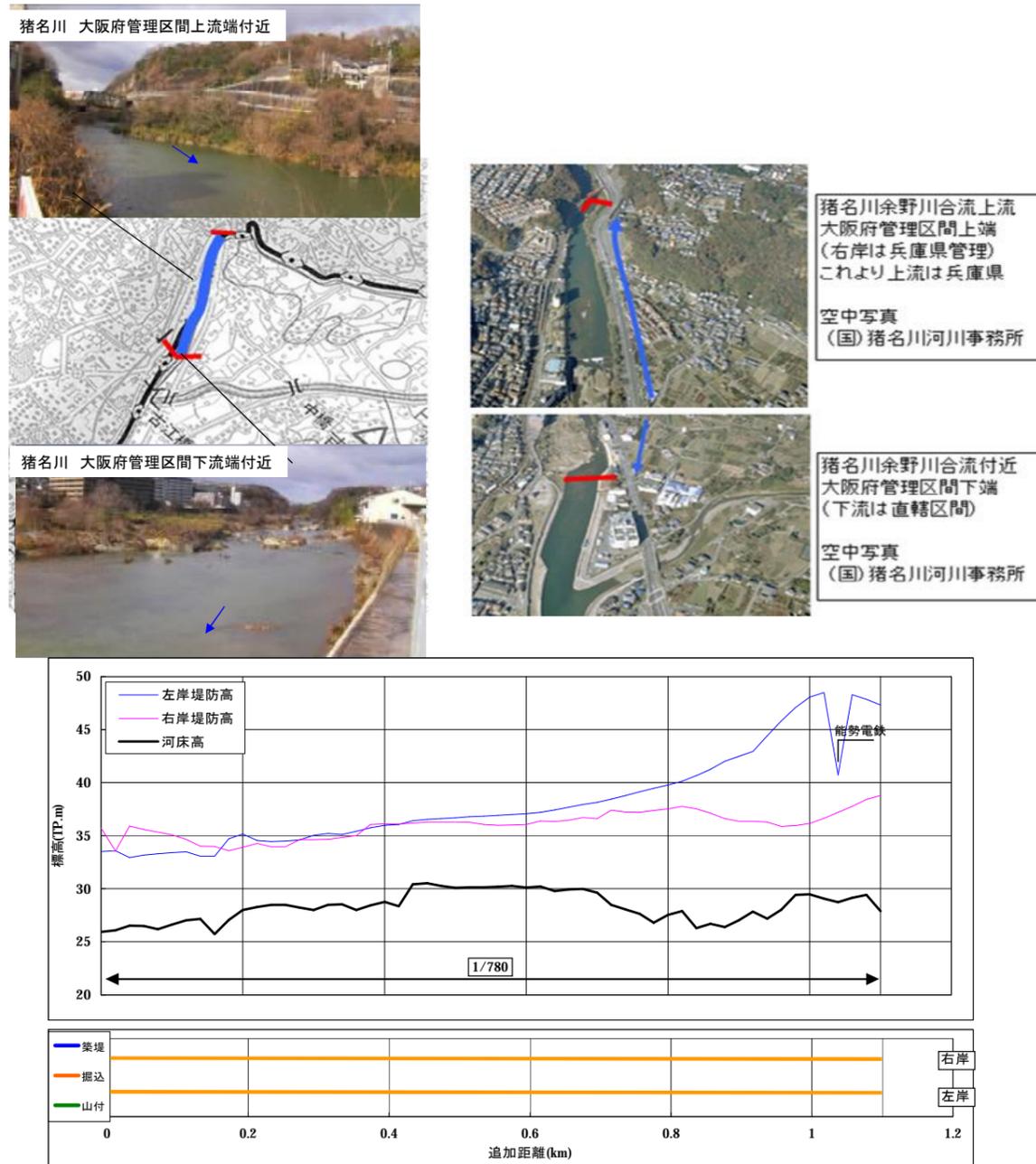


図-1.24 河川状況図と縦断図(猪名川)

#### (2) 余野川

余野川は豊能町の山地に源を発し、国道 **423** 号沿いに南西に流下して猪名川に合流する指定区間延長 **15.449 km** の一級河川です。

##### 【下流部（猪名川合流点～新吉田橋）】

下流部では河床勾配が約 **1/90**～**1/160**、川幅は約 **30m** となっており、周辺は住宅が点在する田園風景が広がっています。河道はコンクリートブロック護岸が整備され、河畔林や河道内の洲にはヨシやミゾソバ等の草本類が繁茂しています。

##### 【中流部（新吉田橋～金石橋）】

中流部では山間部を流れ、河床勾配が約 **1/30**～**1/90**、川幅は **15m** 前後となり、河床は岩が露頭する溪流景観となっています。

##### 【上流部（金石橋より上流）】

上流部では、河床勾配が約 **1/55**～**1/85**、川幅は **10m** 前後となり、田園地帯を流下する里地景観となっています。

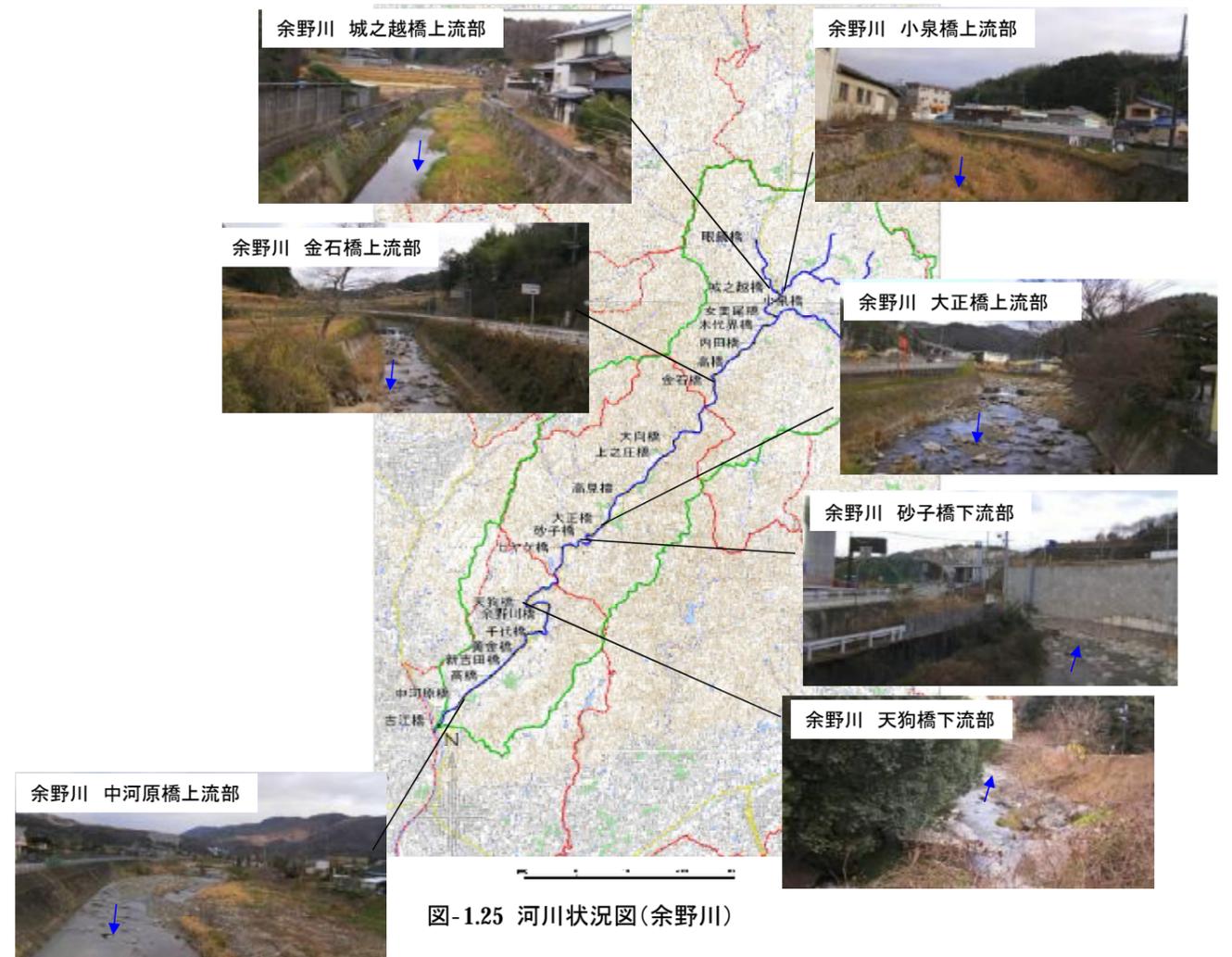


図-1.25 河川状況図(余野川)

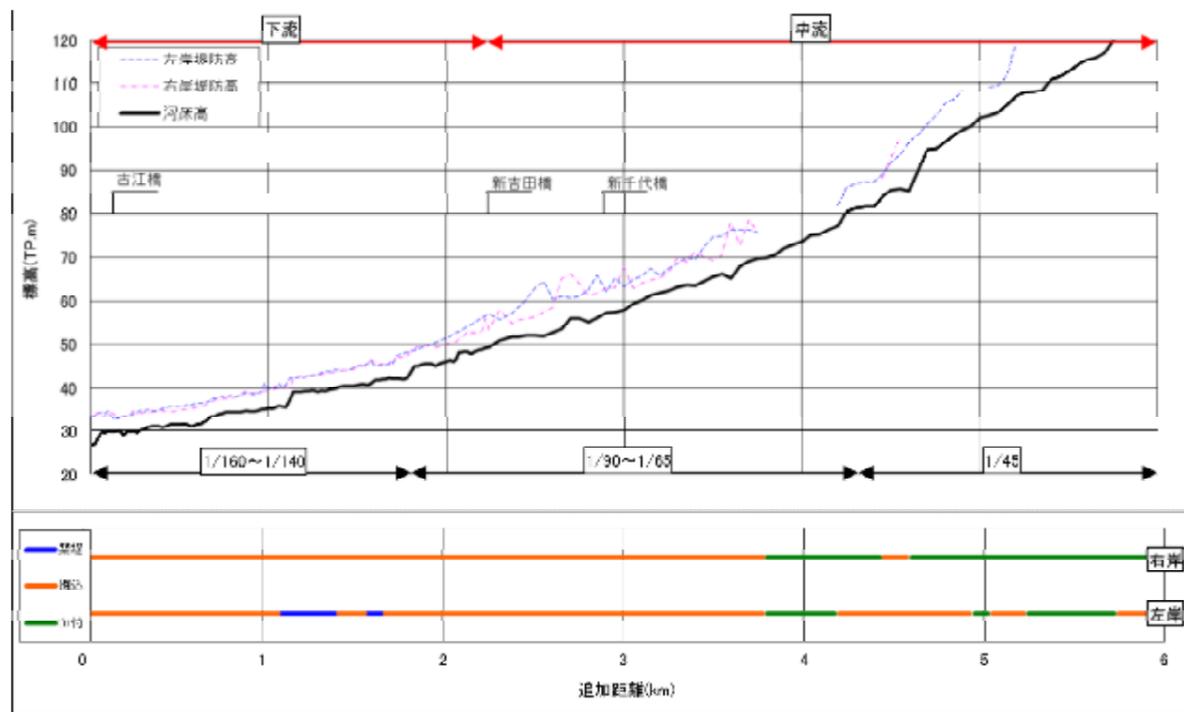


図-1.26(1) 縦断面図(余野川 下流、中流)

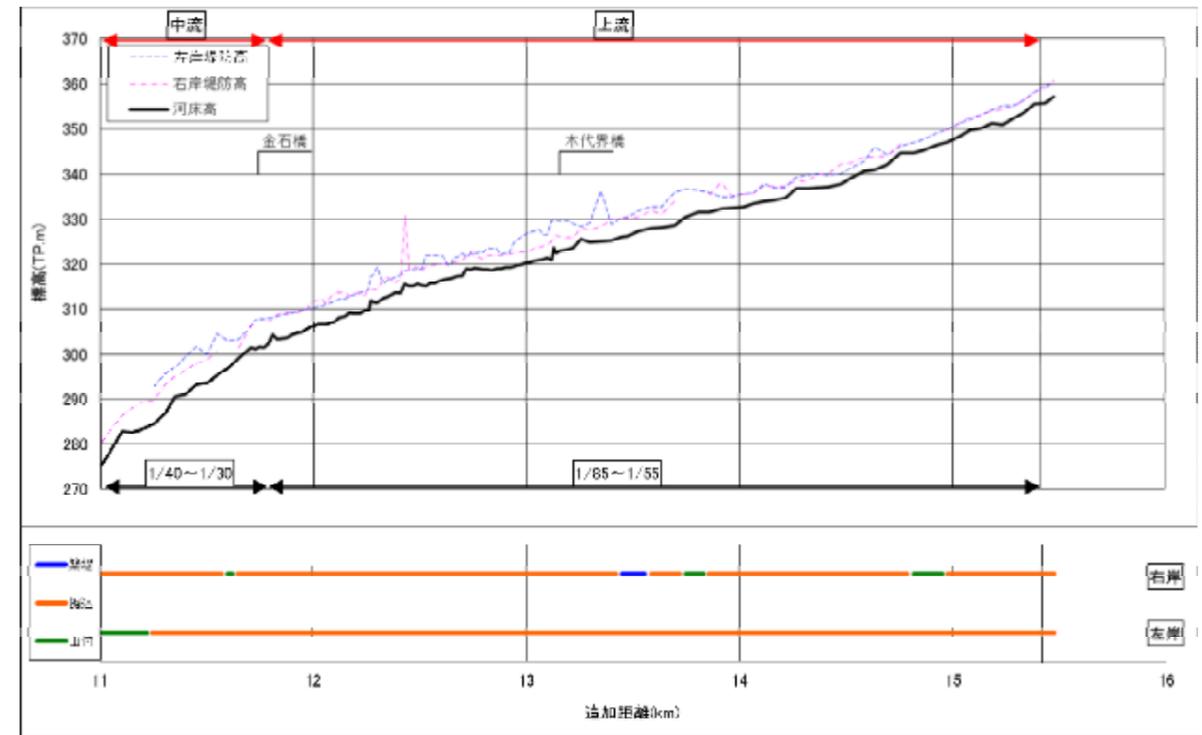


図-1.26(3) 縦断面図(余野川 上流)

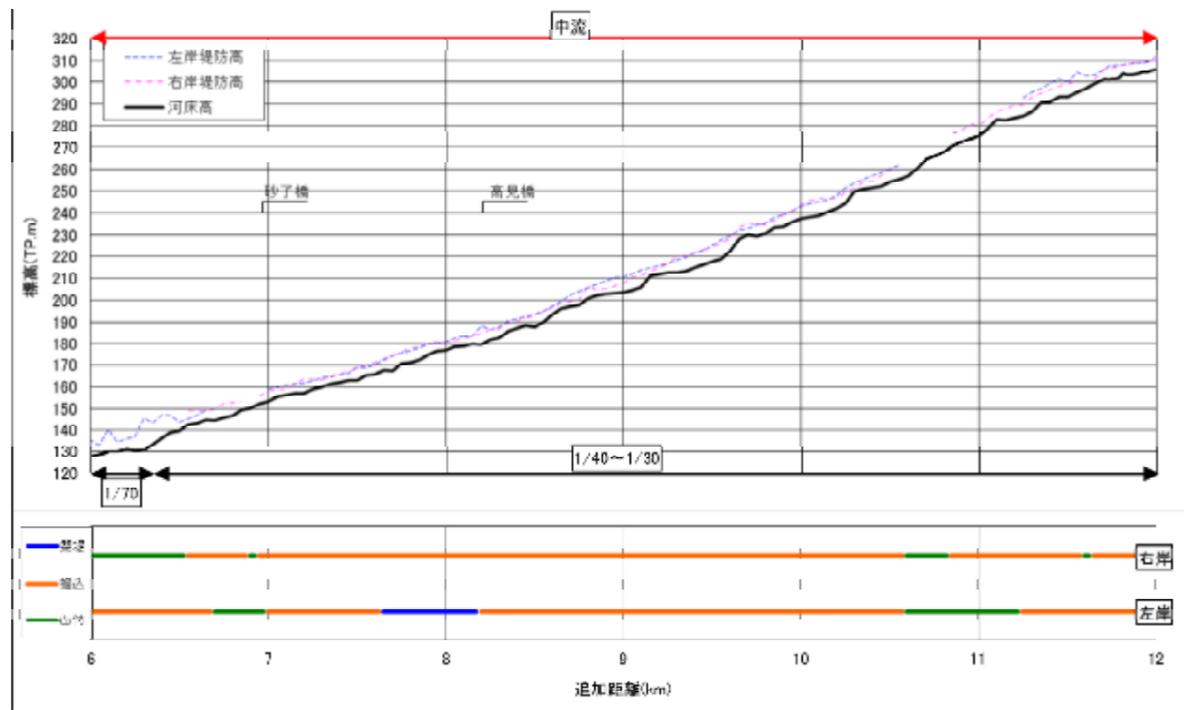


図-1.26(2) 縦断面図(余野川 中流)

(3) 木代川、切畑川、石田川（余野川支川）

木代川は余野川の左支川で、豊能町内を流れる指定区間延長 **1.912km** の一級河川です。周辺には田園風景が広がり、未改修河川で、川幅 **10m** 程度、河床勾配は約 **1/30**～**1/50** と急勾配です。

切畑川は余野川の左支川で、豊能町内を流れる指定区間延長 **1.990km** の一級河川です。圃場整備とともに河川改修が進められましたが、一部では未改修の状況です。川幅 **10m** 程度、河床勾配は約 **1/30**～**1/150** と急勾配で、周辺には田園風景が広がっています。

石田川は切畑川の左支川で、豊能町内を流れる指定区間延長 **1.586km** の一級河川です。切畑川同様、圃場整備とともに河川改修が進められましたが、一部では未改修の状況で、川幅 **7m** 程度、河床勾配は約 **1/30** と急勾配で、周辺には田園風景が広がっています。



図-1.27 河川状況図(木代川、切畑川、石田川)

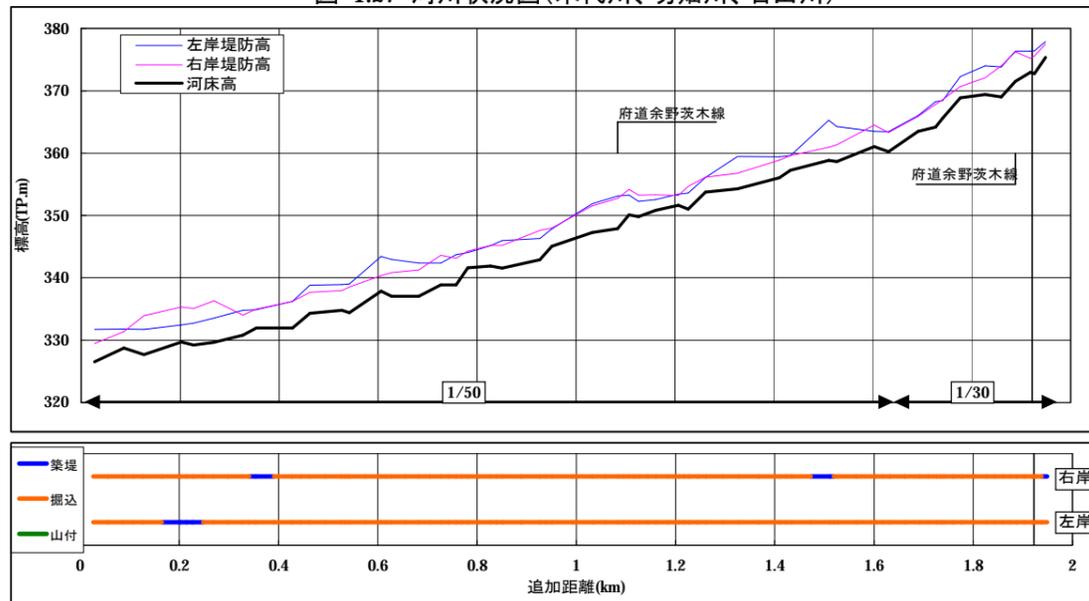


図-1.28 縦断図(木代川)

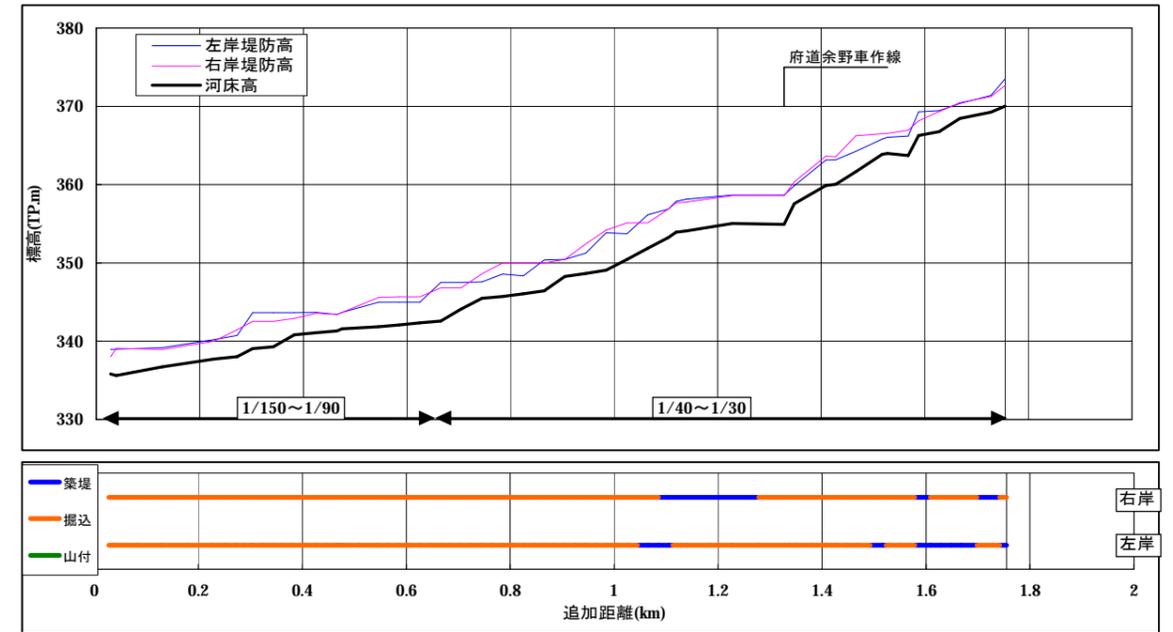


図-1.29 縦断図(切畑川)

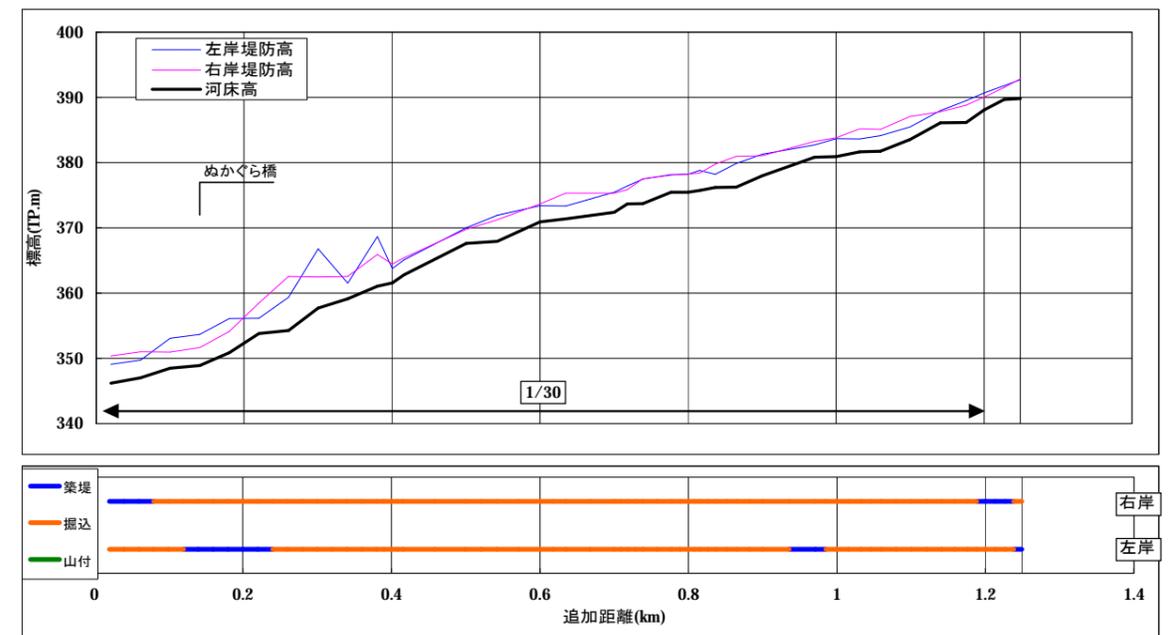


図-1.30 縦断図(石田川)

#### (4) 箕面川

箕面川は、豊能町高山地区の山地に源を発し、箕面市と池田市を貫流し猪名川に注ぐ指定区間延長12.402 kmの一級河川です。

##### 【下流部（下河原高架橋下流～桂橋）】

下流部では、河床勾配が約1/75～1/145、川幅は約25～15mとなっており、護岸沿いに住宅や工場が立ち並ぶ市街地を流れる区間では人工的な河川景観となっており、国道176号より上流では、落差工や護床工が多くなります。河道はコンクリートブロック護岸で整備されていますが、緑の多い河川景観となっています。

##### 【中上流部（桂橋より上流）】

中上流部は国定公園に指定され、自然豊かな山間部となっており、河床勾配は約1/10～1/95、川幅10m程度、河床は露頭し小さな滝が連続する美しい溪流景観を作り出しています。

茶長阪川合流点上流に治水を主目的とした箕面川ダムが築造されています。

下流の600mは、兵庫県管理区間です。



図-1.31 河川状況図(箕面川)

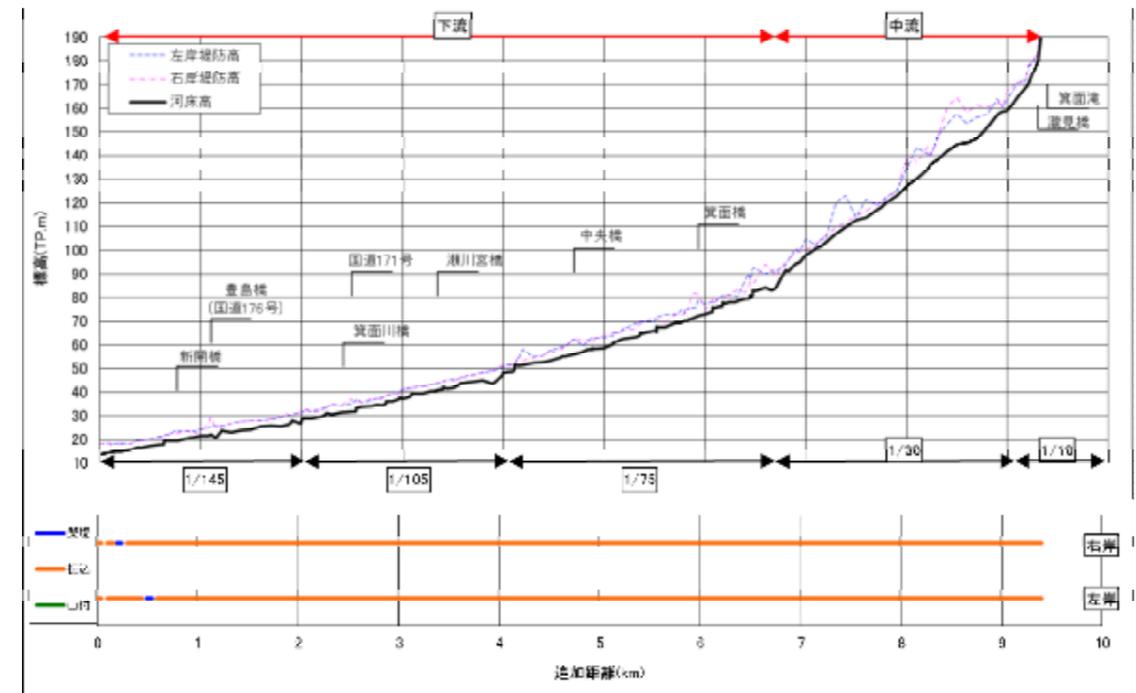


図-1.32(1) 縦断面図(箕面川 下流、中流)

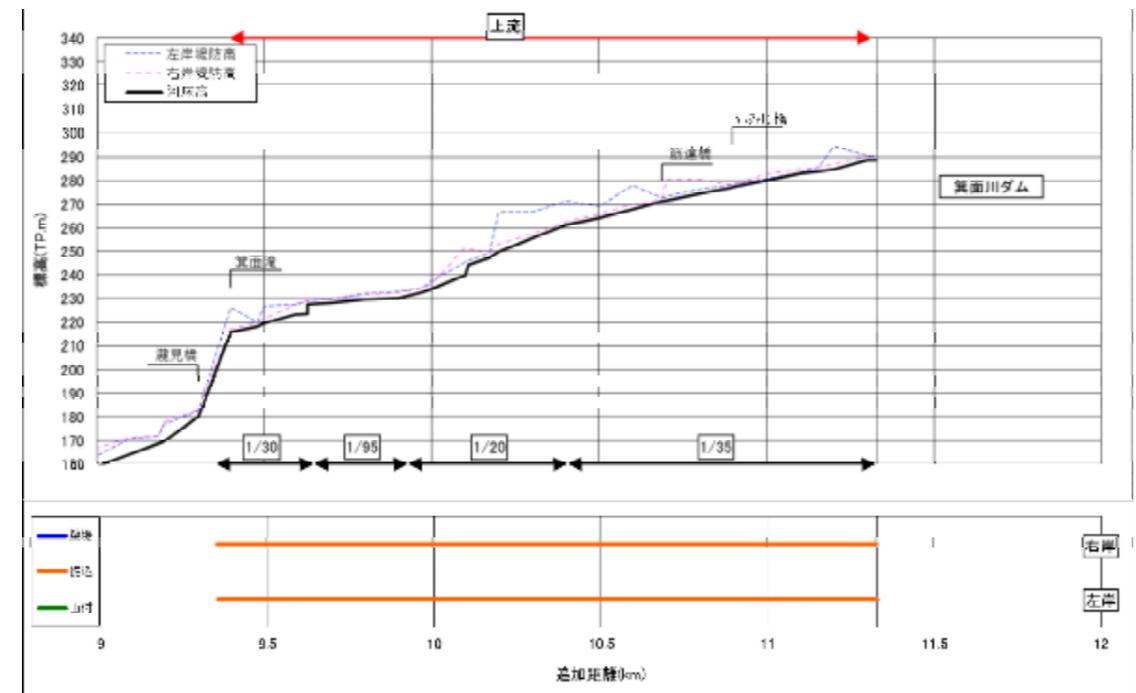


図-1.32(2) 縦断面図(箕面川 上流)

(5) 石澄川、茶長阪川（箕面川支川）

石澄川は、箕面川の右支川で、池田市六箇山北方に源を発し、皿池・中池・尻池等を経て、池田市、箕面市を流れる指定区間延長 **2.258km** の一級河川です。川幅約 **10m**～**5m**、河床勾配は約 **1/20**～**1/40** と急勾配で、全面的に河床張コンクリートが設置されており、周辺は密集した市街地です。

茶長阪川は、箕面川の左支川で、箕面川ダム下流の箕面川に合流する指定区間延長 **1.150km** の一級河川です。川幅 **10m** 程度、河床勾配は約 **1/10**～**1/30** と急勾配で、府道豊中亀岡線沿いの山間部を流れています。



図-1.33 河川状況図(石澄川、茶長阪川)

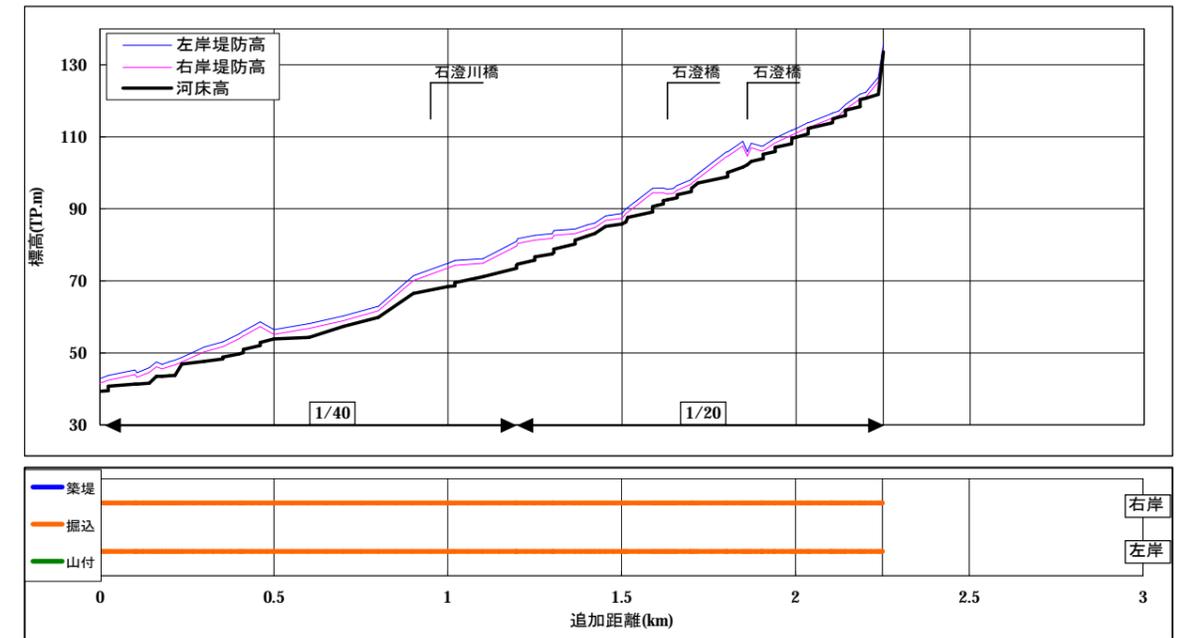


図-1.34 縦断図(石澄川)

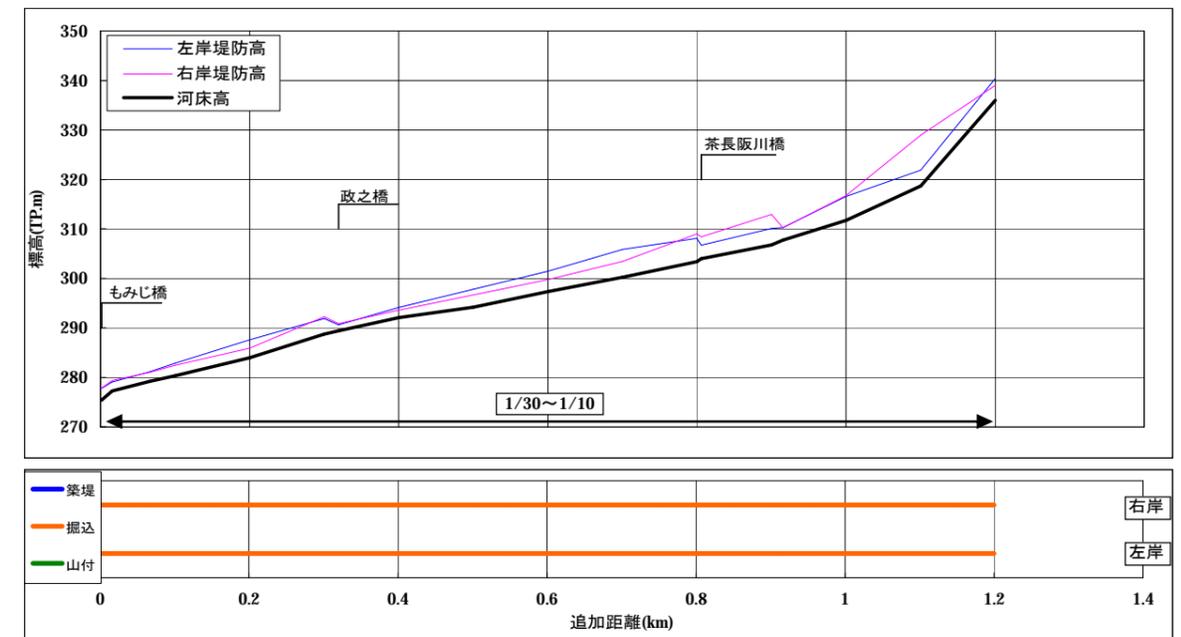


図-1.35 縦断図(茶長阪川)

(6) 千里川

千里川は箕面市の箕面山に源を発し、芋川、箕面鍋田川と合流した後、豊中市の市街地を西南に流下し、大阪国際空港の南側を右岸に接しながら猪名川に注ぐ指定区間延長 **10.696 km**の一級河川です。

【中下流部（猪名川合流点～堤山橋）】

中下流部では河床勾配が約 **1/130**～**1/340**、川幅約 **25m**で、コンクリートブロック護岸が整備され、画一的な断面区間となっています。

【上流部（堤山橋より上流）】

上流部では河床勾配は約 **1/30**～**1/80** となり、川幅は8 m程度で落差工が増え、人工的な河川景観となっています。

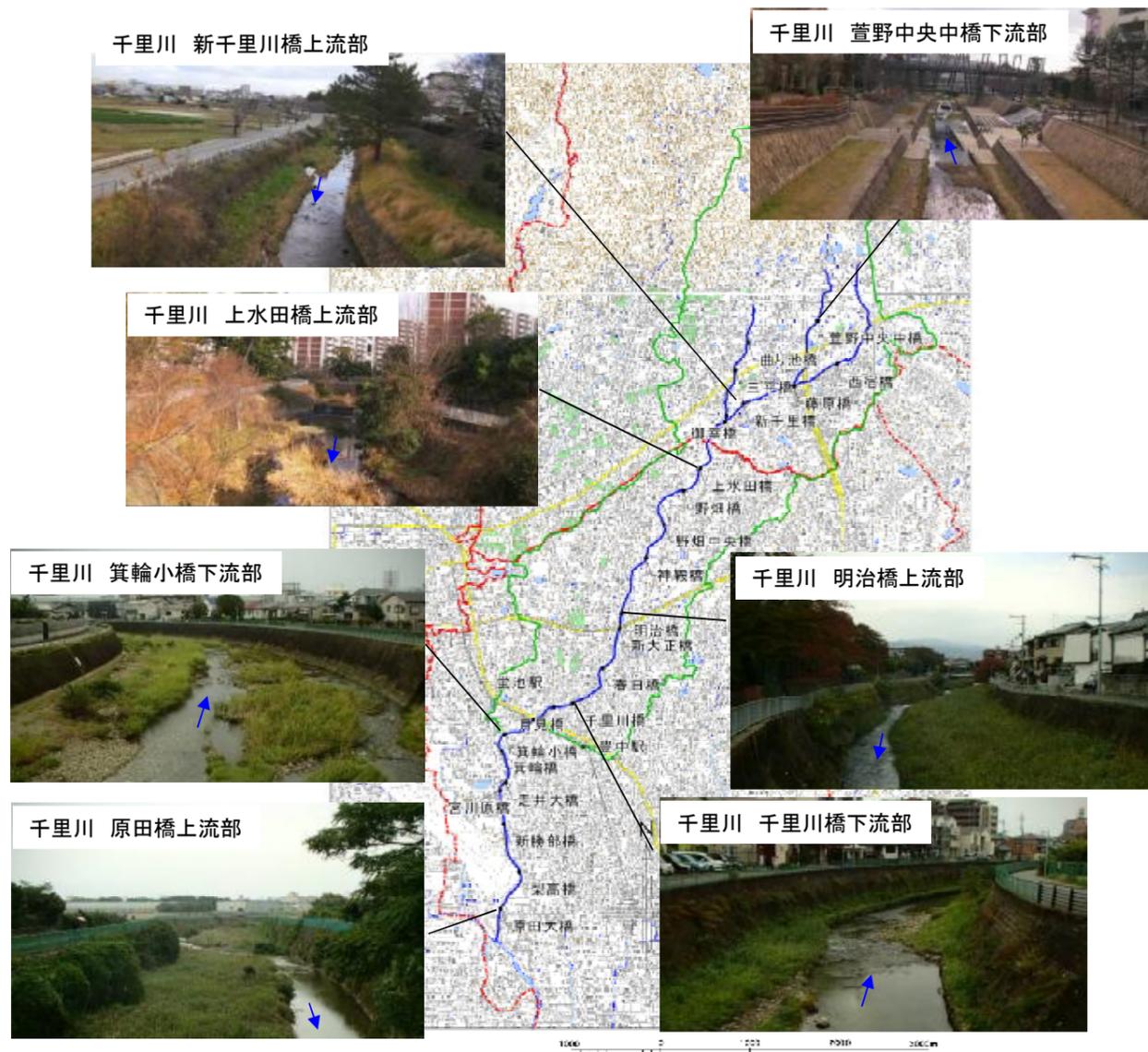


図-1.36 河川状況図(千里川)

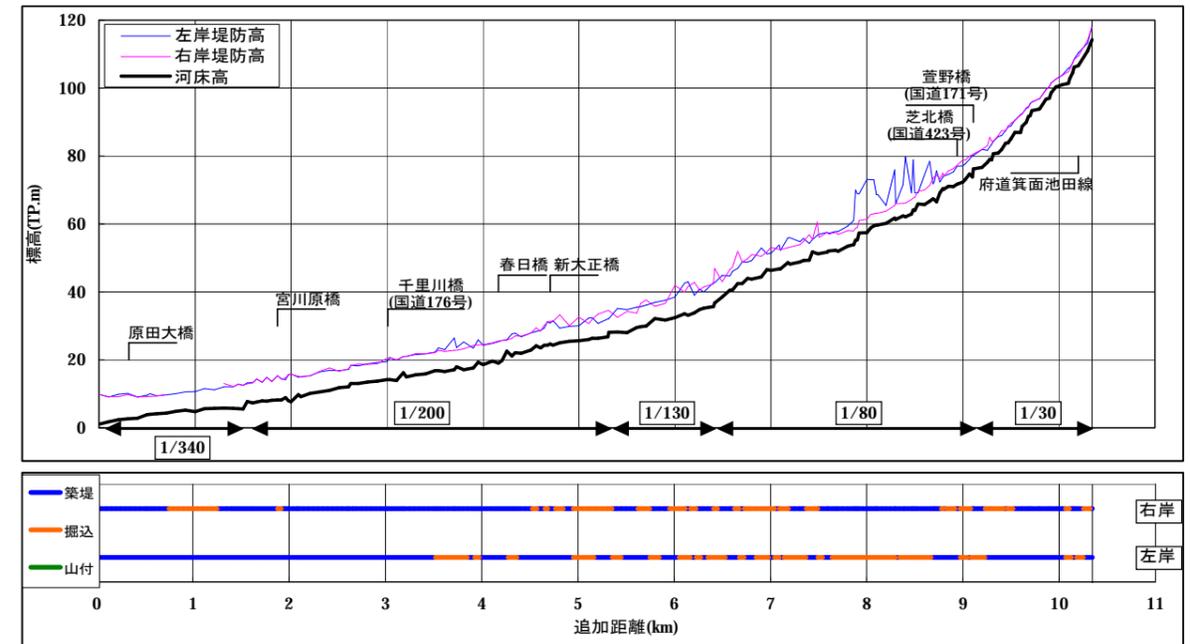


図-1.37 縦断面図(千里川)

(7) 箕面鍋田川、芋川（千里川支川）

箕面鍋田川は、千里川の右支川で、箕面市如意谷地区に源を発し、箕面市を流れる指定区間延長**1.589km**の一級河川です。川幅**7m**程度、河床勾配は約**1/30~1/100**で、下流部は市街地を流れますが、上流部には田園が周辺に残っています。

芋川は、千里川の左支川で、箕面市石丸の打越池から流れ出し、箕面市を流れる指定区間延長**1.083km**の一級河川です。川幅**7m**程度、河床勾配は約**1/60~1/100**で河床張コンクリートが設置されています。丘陵地を流れ、川沿いには新興住宅地の中に残った農地が目立ちます。

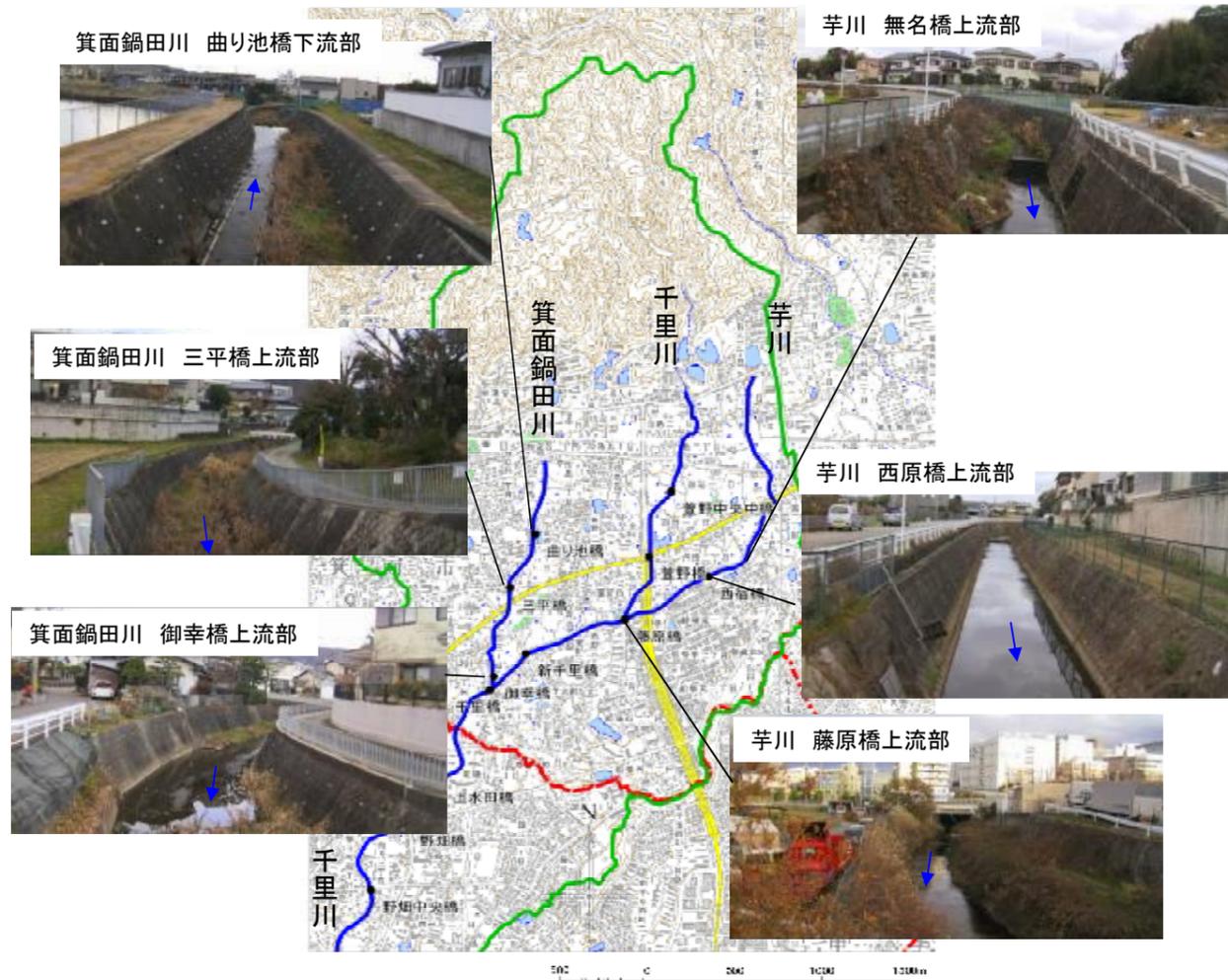


図-1.38 河川状況図(箕面鍋田川、芋川)

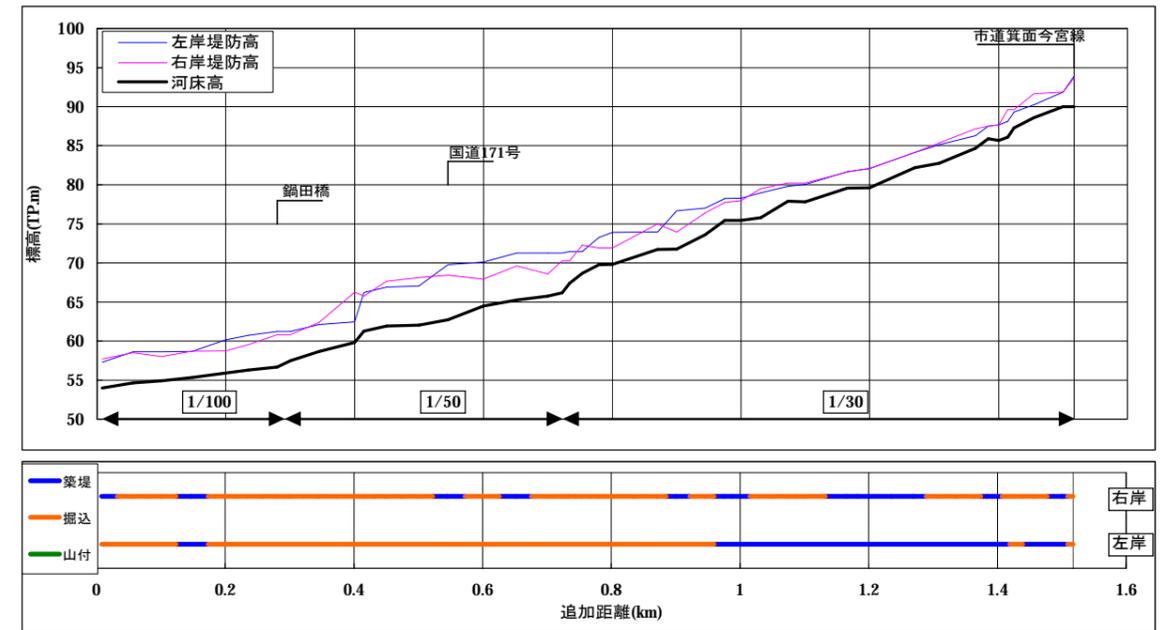


図-1.39 縦断面図(箕面鍋田川)

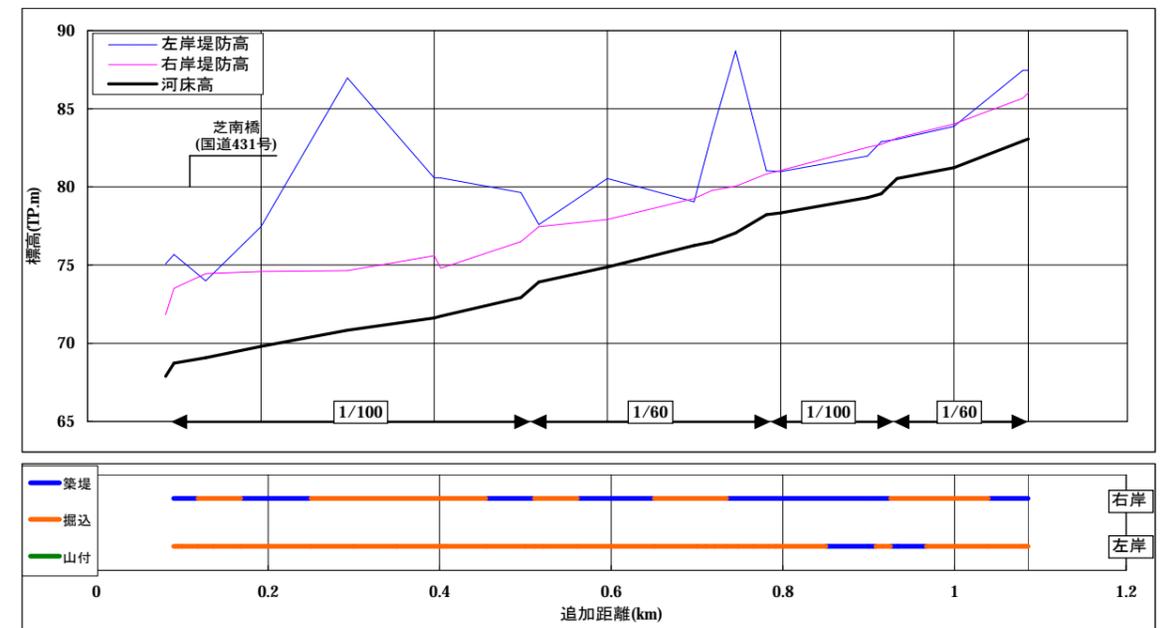


図-1.40 縦断面図(芋川)

(8) 初谷川

初谷川は妙見山につながる天台山、光明山を源とし、上流部は溪谷をなす指定区間延長 **2.775 km** の一級河川で、川幅は **10m** 程度で、河床勾配は約 **1/30~1/110** です。

下流部は豊能町ときわ台や光風台の住宅地を流れ、兵庫県境に至り、一庫・大路次川に合流します。初谷川溪谷は大阪みどりの百景に選出され、自然豊かな河川となっています。



図-1.41 河川状況図(初谷川)

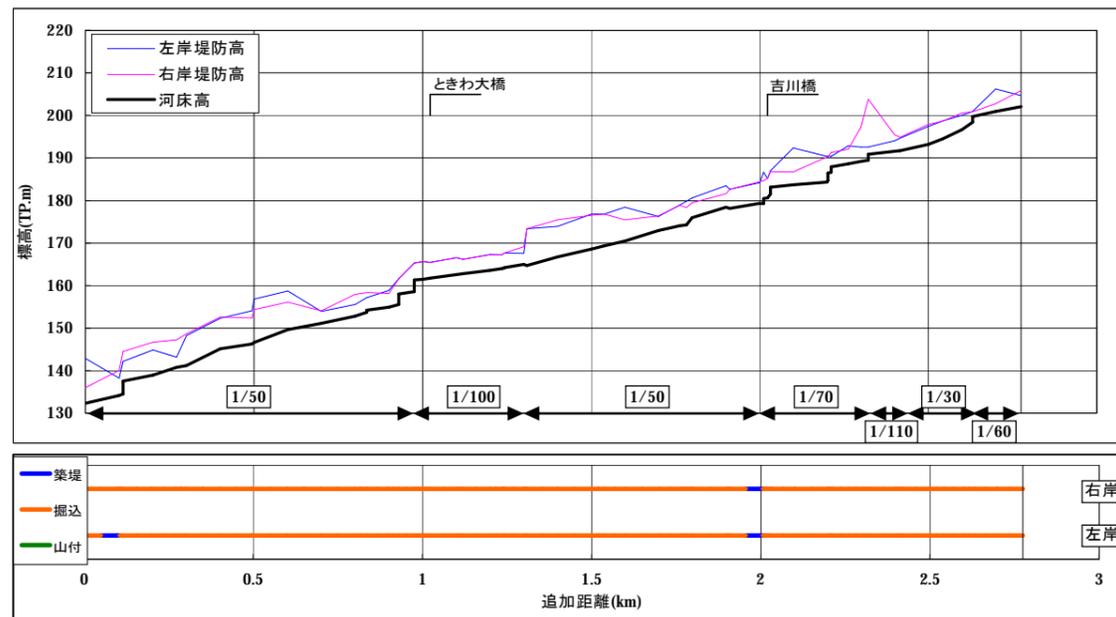


図-1.42 縦断図(初谷川)

(9) 神田川

神田川は池田市内の雨水幹線を流域に持つ、指定区間延長 **0.070km** の一級河川で、川幅は **6 m** 程度、河床勾配は約 **1/100** です。

下流には神田川排水機場、神田排水樋門（ともに国土交通省管理）が設置されています。



図-1.43 河川状況図(神田川)

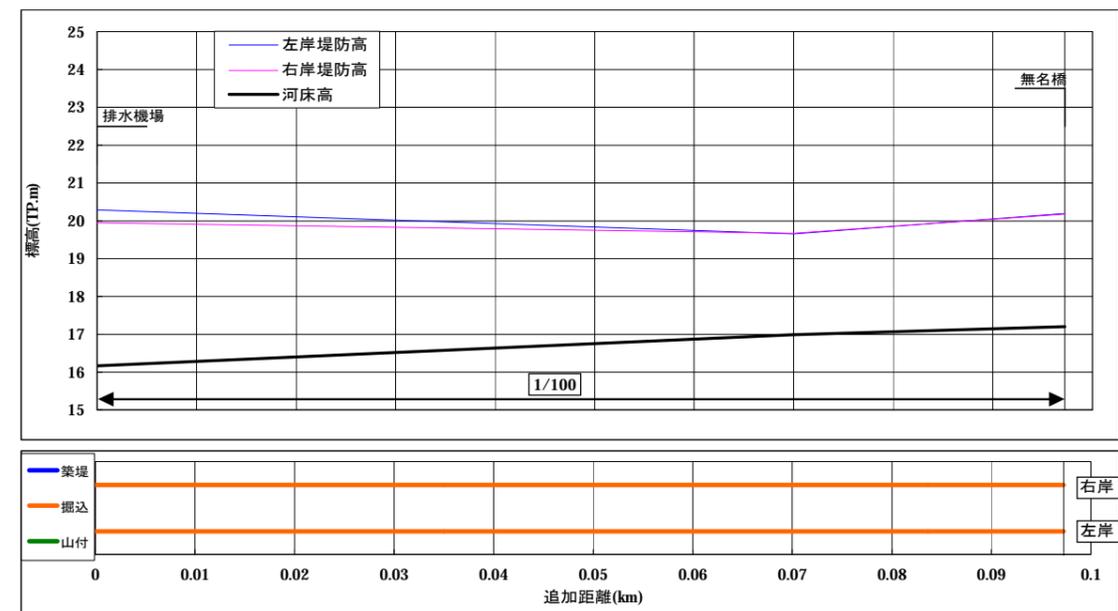


図-1.44 縦断図(神田川)